

2023年3月期 第1四半期 決算報告

2022年 8月10日

第一生命ホールディングス株式会社



Dai-ichi Life
Holdings

- 第一生命ホールディングス財務企画ユニット長の西村です。
- 本日は、第一生命グループの2023年3月期第1四半期決算報告の電話会議にご参加いただきまして、ありがとうございます。
- 私から資料に沿って概要をご説明し、残りの時間を質疑応答とさせていただきます。
- 2ページをご覧ください。

目次

- 本日のポイント P.2
- グループ各社の業績概要 P.8
- グループEEV P.17
- 参考データ P.20

主要為替レート(TTM)

	米ドル/円	ユーロ/円	豪ドル/円
2022/6末	136.68円	142.67円	93.90円
2022/3末	122.39円	136.70円	92.00円
2021/12末	115.02円	130.51円	83.42円
2021/6末	110.58円	131.58円	83.12円
2021/3末	110.71円	129.80円	84.36円

グループ各社略称・出資比率・決算期

国内生命保険事業			出資比率	決算期
DL	第一生命		100%	
DFL	第一フロンティア生命		100%	4-3月
NFL	ネオファースト生命		100%	
海外保険事業				
PLC	プロテクト	[米国] Protective Life Corporation	100%	1-12月
TAL	TAL	[豪州] TAL Dai-ichi Life Australia	100%	4-3月
DLVN	第一生命ベトナム	[ベトナム] Dai-ichi Life Insurance Company of Vietnam	100%	
DLKH	第一生命カンボジア	[カンボジア] Dai-ichi Life Insurance (Cambodia)	100%	1-12月
DLMM	第一生命ミャンマー	[ミャンマー] Dai-ichi Life Insurance Myanmar	100%	
SUD	スター・ユニオン・第一ライフ	[インド] Star Union Dai-ichi Life Insurance Company	45.9%	4-3月
PDL	パニン・第一ライフ	[インドネシア] PT Panin Dai-ichi Life	40%	
OLI	オーシャン・ライフ	[タイ] OCEAN LIFE INSURANCE PUBLIC COMPANY	24%	1-12月
DLRe	Dai-ichi Re	[バミューダ] Dai-ichi Life Reinsurance Bermuda	100%	
その他事業(アセットマネジメント事業)				
AMOne	アセットマネジメントOne		49%(持込株) 30%(経済持分)	4-3月

連結業績

国内の新型コロナ感染再拡大や金融市場変動により、グループ修正利益は減益（進捗率：34%）

利益	グループ修正利益	914億円
	連結純利益	811億円
新契約	グループ新契約ANP	881億円
	国内新契約価値（概算）	約210億円

- ▶ 前年同期比△19%
DLは資産運用関連の利益増加から増益、DFL・米PLCIは海外金利上昇の影響等から一時的に赤字を計上
- ▶ 同△41%
グループ修正利益の減益に加え、DFLのMVA関連損益に含まれる金利変動損益の悪化が影響
- ▶ 同+1.9% ※為替影響除く
国内：DL・NFLが前年同期の反動等から伸び悩む中、DFLが好調に推移し、全体で+5%
海外：DLVNが新型コロナに伴う営業制約から減少、TALも個人向けが低調に推移し、全体で△6%
- ▶ 同△17%（進捗率：18%）
うちDLは約150億円（前年同期比△13%、進捗率：約17%）

EEV・ESR（概算）

グループEEVは株式市場下落の影響等により微減、ESRはリスク削減の進展もあり上昇

資本	グループEEV	約7兆400億円
健全性	資本充足率(ESR)	約235%

- ▶ 前期末比△2%
DLにおける主に国内株式市場の下落に伴う、含み益の減少等が影響
- ▶ 同+8pt
ESR資本の増加や国内金利上昇、市場関連リスク削減効果等が寄与

トピック

豪TALを通じたWestpac Lifeの買収手続きを完了

- ▶ 8/1付にて買収手続きを完了し、今後、豪TALとの統合プロセスを実施

新型コロナに関連した
保険金等のお支払いの状況*1

		死亡保険金（給付金）		入院給付金等	
		件数	金額	件数	金額
国内グループ会社	2022年4月～6月	659件	約35億円	203,415件	約222億円

▶ うちDL238億円（死亡23億円/入院214億円）

（1） 国内グループ3社（第一生命、第一フロンティア生命、ネオファースト生命）合計、2022年6月30日時点での判明分

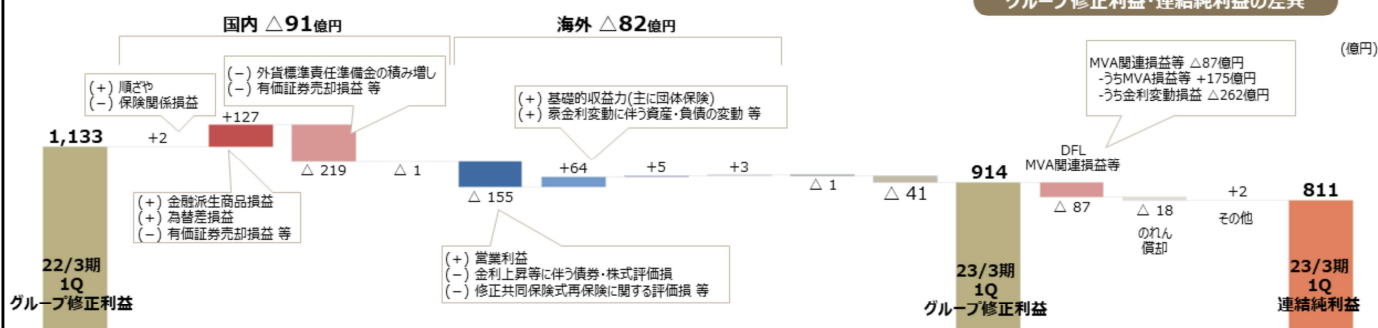
2

- 本日のポイントを3点にまとめました。
- まず、連結業績です。利益面は、国内の新型コロナ感染再拡大や海外金利上昇の影響等から減益となりました。
- 第一生命において新型コロナに関連した保険金等の支払が増加しましたが、一過性の要因も含めて資産運用関連の利益が増加し、増益を確保したこと等から、第一フロンティア生命、米国プロテクトが一時的に赤字を計上する中で、グループ修正利益の進捗率は34%となりました。連結純利益は、DFLにおけるMVA関連損益がマイナスに寄与しました。
- 新契約業績についてです。第一生命・ネオファースト生命が、販売が好調であった前年同期からの反動減等から低調に推移しましたが、海外金利上昇の中で、第一フロンティア生命の販売が大幅に増加し、国内全体の新契約年換算保険料は増加しました。海外は、主に第一生命ベトナム、豪TALが前年同期を下回る結果となりました。グループ全体では、為替相場の影響を除いた実績でも前年同期を上回る結果となりました。
- 新契約価値は国内のみ概算を開示しています。国内全体で約210億円となり、主に第一生命・ネオファースト生命での販売が伸び悩んだことが影響し、進捗率は18%となりました。
- グループEEVは、国内金利上昇のプラス効果を海外金利上昇のマイナス効果が相殺し、国内株式市場の下落の影響により前期末比で微減となりました。ESRは約235%に上昇しました。
- トピックとして豪TALが8/1付けでWestpac Lifeの買収手続きを完了しました。今後は統合プロセスに移ります。現時点で買収に伴うグループ利益への貢献等の見通しに変更はありません。
- 最後に国内の新型コロナに関連した保険金等のお支払い状況についてです。第1四半期では、国内グループ3社合計で約260億円の保険金・給付金をお支払いし、うち第一生命は238億円となりました。
- 第一生命の当期の予算では入院給付金として約300億円のお支払いを織り込んでいますが、7月以降の急速な感染者数の増加の影響を踏まえると、予算を上回る影響も想定されます。
- 現時点で通期予想に変更はありませんが、引き続き状況を注視していきます。
- 次のページをご覧ください。

決算のポイント – 利益：グループ修正利益・連結純利益

- ▶ グループ修正利益は、DLが新型コロナ感染再拡大に伴い保険関係損益が悪化する中、国内金利上昇や円安に伴うキャピタル損益等の改善で増益を確保したものの、DFLでの販売好調に伴う外貨標準責任準備金の積み増しや有価証券売却損の計上、米PLCでの営業外損益(評価性)の悪化等を主因に減益(前年同期比△19%)
- ▶ 連結純利益は、DFLにおいてMVA関連損益に含まれる金利変動損益(時価評価資産(債券)の評価損益)の悪化が影響(同△41%)

グループ修正利益・前年同期比変動要因



	DL ⁽¹⁾ 基礎利益	DL ⁽¹⁾ キャピタル・ 臨時損益等	DFL	NFL	米PLC	豪TAL	DLVN	その他 海外	アセット マネジメント	DLRe・ HD・その他	グループ修正利益	(グループ修正利益からの増減金額)			
23/3期 1Q	824	179	△107	△17	△36	40	44	2	12	△27	914	△87	△18	+2	811
22/3期 1Q	821	52	112	△15	119	△23	38	△1	14	14	1,133	+267	△16	-	1,384

(1) 基礎利益は税前を記載しており、DLにおける法人税等の変動は、キャピタル・臨時損益等に含めています

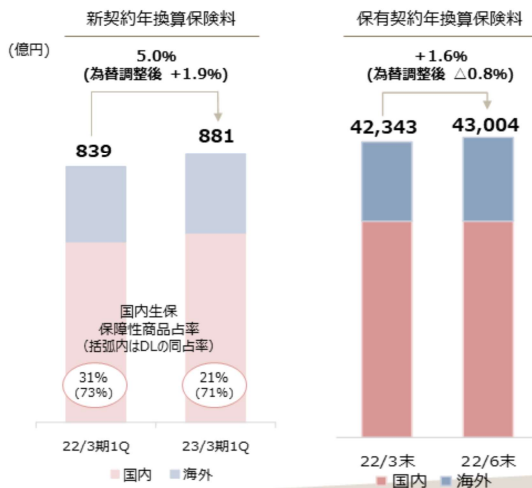
3

- 利益面について説明します。
- 第一生命の基礎利益は、新型コロナに関連した保険金等のお支払いの増加から、保険関係損益が悪化しましたが、円安等による順ざやの増加により、前年同期からほぼ横ばいとなりました。キャピタル・臨時損益等では、国内金利の上昇や円安による金融派生商品損益やヘッジコストを除く為替差損益の改善が寄与しました。
- 第一フロンティア生命は、販売好調に伴う外貨標準責任準備金の積み増しが生じたほか、保有債券の入替えを行い、一時的な売却損を計上したことが影響しました。
- 外貨標準責任準備金の積み増しは、新規契約に対する付与利率が標準利率よりも高いことで発生します。第1四半期のように急速に金利が上昇する局面では、付与利率が標準利率を上回る状態が発生し、準備金の追加繰入れ負担が発生します。ただしこれは積立ての前倒しであり、契約期間を通じた損益に影響はありません。
- 米プロテktivは、新型コロナに関連した保険金等の発生が期初想定を下回り、営業損益は改善したものの、営業外損益における金利上昇や株式市場の下落に伴う評価性損失が大きく影響しました。
- 豪TALは、基礎的収益力の改善に加え、前年同期に発生した豪金利のフラットニングを主因とする資産・負債の時価変動損失からの解消により、増益となりました。
- 最後に連結純利益は、主に第一フロンティア生命におけるMVA関連損益の悪化が影響しました。MVA関連損益には、MVA自体の増減による損益に加え、MVA損益を相殺することを企図し保有する金銭の信託等の時価評価による変動損益が金利変動損益として含まれています。前期末までの海外金利上昇でMVA残高が大きく減少したため、第1四半期におけるMVAの戻入額が小規模となった一方、時価変動を直接反映した金利変動損益はそれを上回って大きく悪化したことから、合計のMVA関連損益はマイナス寄与となりました。
- 次のページをご覧ください。

決算のポイント – 新契約：新契約・保有契約年換算保険料

- 国内新契約は、海外金利上昇で外貨建商品の訴求力が高まったDFLが堅調に推移し、国内全体で前年同期比+5%増加
DLは前年同期における医療保険新商品の販売拡大からの反動のほか、DFL商品へ営業活動がシフトしたこともあり△30%、NFLも他社の商品改定等の影響から弱含み
- 海外は、円安により前年同期比増加したが、DLVNが新型コロナに伴う営業制約を受けたほか、TALも個人向けが低調に推移し、為替調整後では全体で△6%減少

新契約・保有契約年換算保険料(ANP)の状況



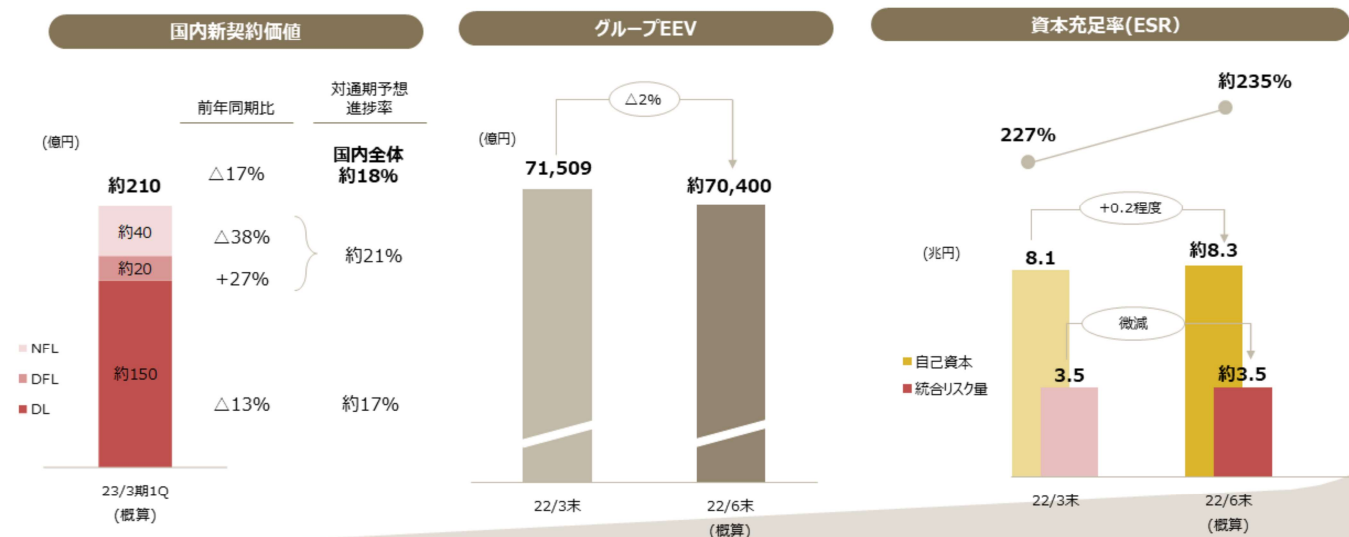
(億円)	新契約年換算保険料				保有契約年換算保険料		
	22/3期1Q	23/3期1Q	前年同期比	20/3期同期比	22/3末	22/6末	前期末比
国内3社計	592	622	+5.2%	+7.8%	30,901	30,936	+0.1% (△1.4%)
DL	198	138	△30.4%	△33.7%	20,527	20,420	△0.5%
うち第三分野	133	85	△36.1%	△38.3%	7,088	7,082	△0.1%
DFL	357	454	+27.4%	+30.0%	8,983	9,153	+1.9% (△3.2%)
うちDLチャネル販売	51	126	+148.2%	+40.1%			
NFL	36	29	△18.3%	+51.8%	1,390	1,362	△2.0%
うちDLチャネル販売	17	18	+8.1%	+304.6%			
海外5社計	247	259	+4.6% (△6.0%)	+28.4% (+14.6%)	11,441	12,067	+5.5% (+0.6%)
PLC	148	163	+10.2% (△0.3%)	+86.9% (+69.5%)	5,979	6,357	+6.3% (△0.1%)
TAL	24	24	+0.2% (△11.3%)	△65.1% (△71.9%)	4,497	4,647	+3.3% (+1.2%)
DLVN	75	70	△6.0% (△16.4%)	+55.9% (+38.6%)	961	1,058	+10.1% (+1.9%)
DLKH/DLMM	0.3	1.0	+177.3% (+168.3%)	+9,426.6% (+9,135.0%)	2.9	3.9	+33.1% (+24.9%)
第一生命グループ計	839	881	+5.0% (+1.9%)	+13.1% (+9.6%)	42,343	43,004	+1.6% (△0.8%)

増減率の下段(△)は為替変動の影響を除く変化率

- 新契約業績について説明します。
- 国内新契約は、海外金利の上昇で外貨建商品の訴求力が高まった第一フロンティア生命が牽引し、前年同期を上回りました。第一フロンティア生命では、参照する指数の上昇率に応じて年金原資の上乗せが期待できる指数連動型の商品販売が好調に推移しています。
- 一方、第一生命単体では、前年同期が医療保険新商品への保障見直しを中心に、新契約が比較的好調であったことからの反動に加え、付与利率の上昇を踏まえ、生涯設計デザイナーの営業活動が第一フロンティア生命の貯蓄性商品提案にシフトしたこともあり、△30%の減少となりました。なお、前年同期比では、新契約に占める新規の販売占率に一定の改善が見られていますが、今後は販売件数の改善が必要と考えています。
- 第一生命では、7月よりコンサルティング手法および商品体系の一体改革を実施し、営業プロセスの再構築を図っています。取組みの浸透や具体的な成果には一定の時間が必要と考えていますが、昨年度より実施している厳選した採用や教育・給与制度の改革などと併せて、着実に生涯設計デザイナーチャネル体制の改革を進めていきます。
- ネオファースト生命では、昨年4月に主力の医療保険の商品改定から販売が好調だったことからの反動のほか、競合他社の商品改定もあり、ショップ代理店を中心に販売が弱含みました。
- 海外各社では、米国プロテクティブにおいて経営者向け商品の販売が好調となり、前年同期並みの販売を確保しました。一方、第一生命ベトナムは、銀行オルタナティブチャネルは堅調であったものの、新型コロナに伴いエージェントチャネルに営業制約が生じたほか、豪TALでは個人保険の販売が軟調となりました。その結果、為替影響を含む海外全体は前年同期から増加しましたが、現地通貨ベースでは減少しました。
- 次のページをご覧ください。

決算のポイント – 経済価値(概算値)⁽¹⁾：国内新契約価値・グループEEV・資本充足率(ESR)

- ▶ 国内新契約価値は、堅調な販売となったDFLが+27%増加したものの、DL・NFLでの販売が伸び悩んだことが影響し、前年同期比△17%(進捗率：約18%)
- ▶ グループEEVは、DLにおいて国内金利上昇のプラス効果を海外金利上昇の影響が相殺し、国内株式市場の下落により前期末から僅かに低下
資本充足率(ESR)は、ESR資本の増加や国内金利を中心とした市場変動、市場関連リスク削減の実施により、前期末から+8pt増加



- 経済価値指標についてまとめています。
- 国内の新契約価値は全体で約210億円、通期予想に対して約18%の進捗率となりました。
- 先に触れた通り、海外金利上昇を受けた第一フロンティア生命での販売量の増加がありましたが、第一生命とネオファースト生命において販売量が低下した影響により、通期予想に対してやや低めの進捗率に留まりました。
- グループEEVは、国内金利上昇のプラス効果を海外金利上昇のマイナス効果が相殺し、国内株式市場の下落により前期末比で微減となりました。
- 第1四半期における第一生命の市場関連リスクの削減取組は金利・株リスクともに順調に進展し、ESRは約235%に上昇しました。
- 次のページをご覧ください。

グループ連結主要業績および2023年3月期業績予想

▶ 現時点で通期予想に変更はないが、ボラティリティの高い金融市場や、国内における7月以降の新型コロナ感染者の急拡大に伴う影響等に注視

(億円)	22/3期 1Q	23/3期 1Q	前年 同期比	(%)	対通期予想 進捗率	22/3期 通期実績	23/3期 通期予想	前期比	(%)
連結経常収益	19,455	28,677	+ 9,221	+ 47%	38%	82,097	76,120	△ 5,977	△ 7%
第一生命	9,511	11,095	+ 1,584	+ 17%	31%	44,508	35,630	△ 8,878	△ 20%
第一フロンティア生命	5,160	11,770	+ 6,609	+ 128%	56%	22,146	21,050	△ 1,096	△ 5%
米プロテクト (百万米ドル) ⁽¹⁾	3,464	3,799	+ 335	+ 10%	39%	13,400	9,750	△ 3,650	△ 27%
米TAL (百万米ドル) ⁽¹⁾	1,678	1,851	+ 172	+ 10%	24%	6,404	7,680	+ 1,275	+ 20%
連結経常利益	2,062	1,471	△ 591	△ 29%	29%	5,908	5,120	△ 788	△ 13%
第一生命	1,461	1,721	+ 260	+ 18%	45%	3,789	3,830	+ 40	+ 1%
第一フロンティア生命	460	△ 246	△ 706	-	-	1,231	590	△ 641	△ 52%
米プロテクト (百万米ドル) ⁽¹⁾	126	△ 37	△ 163	-	-	578	340	△ 238	△ 41%
米TAL (百万米ドル) ⁽¹⁾	△ 44	41	+ 85	-	16%	163	260	+ 96	+ 59%
連結純利益⁽²⁾	1,384	811	△ 572	△ 41%	28%	4,093	2,850	△ 1,243	△ 30%
第一生命	874	1,003	+ 129	+ 15%	54%	1,997	1,870	△ 127	△ 6%
第一フロンティア生命	379	△ 194	△ 574	-	-	1,386	450	△ 936	△ 68%
米プロテクト (百万米ドル) ⁽¹⁾	107	△ 29	△ 137	-	-	277	280	+ 2	+ 1%
米TAL (百万米ドル) ⁽¹⁾	△ 30	40	+ 71	-	23%	126	180	+ 53	+ 43%
グループ修正利益	1,133	914	△ 218	△ 19%	34%	2,961	2,700程度	△ 261	△ 9%
グループ新契約価値⁽³⁾	-	-	-	-	-	1,266	1,540程度	+ 273	+ 22%
					1株あたり配当金(円)	83	86	+ 3	+ 4%
(参考)基礎利益 ⁽⁴⁾	1,121	1,006	△ 115	△ 10%	24%	5,501	4,200程度	△ 1,301	△ 24%
第一生命	821	824	+ 2	+ 0%	27%	4,076	3,000程度	△ 1,076	△ 26%

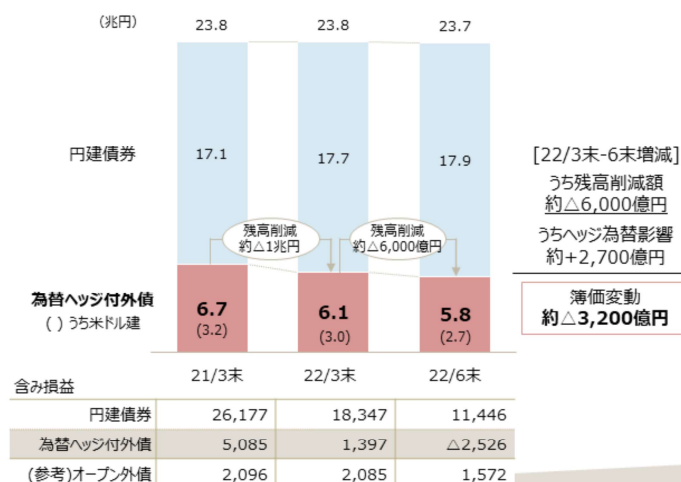
(1) 米PLCおよび米TALの数値は、各国の会計基準で作成した財務諸表を、当社の開示基準に準じて組み替えた上で開示 (2) 親会社株主に帰属する当期純利益
(3) グループ新契約価値実績は、2Q・4Qで開示 (4) 算定方法の改正を踏まえ、改正後基準を記載

- 当期の業績予想に対する進捗状況です。
- 個社毎に濃淡があり、一過性の要因も含まれますが、第1四半期における各進捗率は一定の水準を確保しています。
- 現時点で通期予想に変更はありませんが、金融市場はボラティリティが高い状況が続いています。また、国内における新型コロナの第7波の感染者拡大に伴う影響にも注視していきます。
- 次のページをご覧ください。

[参考] 為替ヘッジ付外貨建債券運用の状況（第一生命）

- ▶ 3月末以降の米国を中心とする海外金利の上昇に伴い、DLは為替ヘッジ付外債の残高コントロールを加速し、主に円建債券を積み増し
- ▶ 内外金利差拡大により、為替に係るヘッジコストは期初計画比で大幅に増加する可能性あり(期初計画：年間約500億円 → 6末金利前提では約900億円)
- ▶ 現時点では、円安による外債からの利息収入の増加やその他の運用資産からの配当収入の増加等により、ヘッジコスト増加は概ね相殺することが可能な見通し

確定利付資産残高内訳(簿価)



為替ヘッジ付外債 損益状況

	22/3期1Q	23/3期1Q	(参考) オープン外債
(億円)			
利息・配当金等収入	413	430	142
為替に係るヘッジコスト	△ 77	△ 36	-
有価証券売却損益	△ 255	△ 773	475
(計画比円安効果: 合計約+40)			

23/3期1Q ヘッジコストの特殊要因

- ・ ヘッジ目的の為替予約取得以降の急速な短期金利の上昇に伴い、6末時点における時価評価の結果、ヘッジコスト相当額の評価が改善
- ・ 1Q決算ではヘッジコストが低位にあるものの、支払コストは約定時に確定しており、今後の為替予約のロール時にコストとして実現する見込み

- 最後にご参考として、第一生命の為替ヘッジ付外貨建債券運用の状況について補足します。
- 3月末以降、米国を中心に海外金利の大幅な上昇が見られており、3月末から6月末の間で、主要通貨の短期金利の見通しは1%前後上昇しています。
- そのような金融環境を踏まえ、第一生命では為替ヘッジ付外債の残高コントロールを加速し、主に米ドル建のヘッジ外債の残高を圧縮の上、円建債券を中心に積み増しを行ってきました。
- また同時に、為替にかかるヘッジコストも足元で大きく上昇しています。第一生命では、期初計画において年間のヘッジコストを約500億円と見込んでいますが、6月末の金利前提で考えると、年間約900億円にまで増加する可能性があります。第1四半期は特殊要因もあり、ヘッジコストが低位に留まりましたが、今後、為替予約のロールを迎える中で、特に下期を中心にコスト負担が増加することが見込まれます。
- 現時点では、円安による外債からの利息収入の増加のほか、金融市場変動に伴うその他の運用収益の増加等により、ヘッジコストの増加は概ね相殺することが可能と想定していますが、今後も市場見通し等を踏まえ、適切なリスクコントロールを実施していきます。
- 私からの説明は以上です。

グループ各社の業績概要

[グループ各社の業績概要]

国内生命保険事業 - 第一生命



- ▶ 基礎利益は、コロナ第6波の影響等により保険関係損益が悪化したものの、予定利息の減少やオルタナティブ資産の増配、円安による外貨建資産の配当収入増等を背景とした順さやの増加により、前年同期比ほぼ横ばいの824億円
- ▶ 修正利益は、金融派生商品損益やヘッジコストを除く為替差損益が前年同期比で改善したこと等により、前年同期比+15%増加の1,003億円

単体業績

(億円)	22/3期 1Q	23/3期 1Q	前年同期比	(%)
保険料等収入	5,415	5,941	+ 526	+ 10%
基礎利益⁽¹⁾	821	824	+ 2	+ 0%
順さや	114	344	+ 229	+ 200%
うちヘッジコスト	△ 77	△ 36	+ 40	
保険関係損益	707	480	△ 227	△ 32%
キャピタル損益	787	999	+ 211	+ 27%
有価証券売却損益	646	578	△ 68	
投信解約損益	288	253	△ 35	
金融派生商品損益	△ 150	82	+ 233	
為替差損益 (除くヘッジコスト)	△ 7	97	+ 104	
有価証券評価損	△ 22	△ 37	△ 14	
臨時損益	△ 148	△ 101	+ 46	△ 32%
新規追加責任準備金繰入額	△ 149	△ 146	+ 2	
危険準備金繰入(△)/戻入額(+)	-	△ 7	△ 7	
再保険関連収支	-	49	+ 49	
経常利益(損失)	1,461	1,721	+ 260	+ 18%
特別損益	△ 79	△ 51	+ 28	
価格変動準備金繰入(△)/戻入額(+)	△ 45	△ 42	+ 2	
契約者配当準備金繰入額	△ 163	△ 212	△ 49	
法人税等合計	△ 343	△ 453	△ 109	
当期純利益(損失)	874	1,003	+ 129	+ 15%

(参考) 基礎利益における再保険取引の影響額⁽²⁾

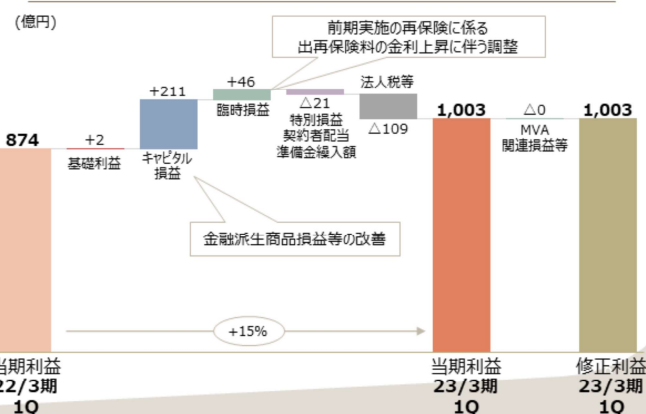
約+30 約+60 約+30

(1) 22/3期1Q・23/3期1Qともに基礎利益の算定方法の改正後の基準により記載

(2) 再保険取引の影響額：19/3期より実施している戦略的な終身保険の再保険取引(出再)による、予定利息の軽減効果や保険関係損益に与える影響額(概算)

(億円)	22/3期 1Q	23/3期 1Q	前年同期比	(%)
修正利益	874	1,003	+129	+15%

当期純利益(損失)の変動要因および修正利益との差異

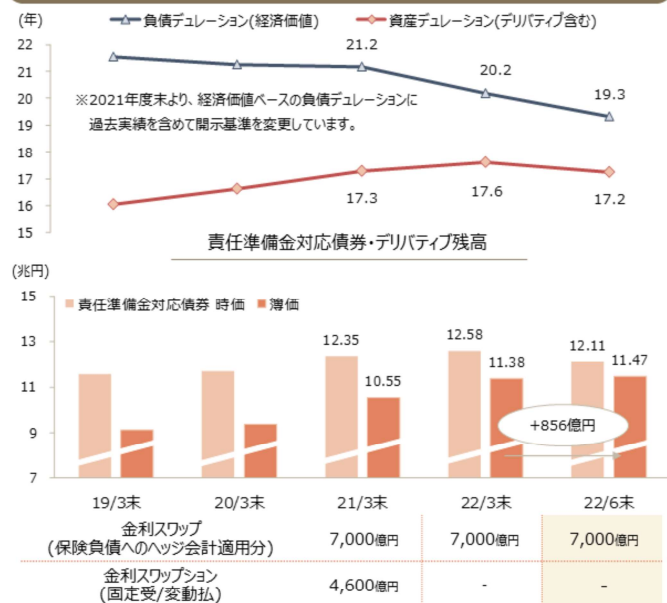


[グループ各社の業績概要]

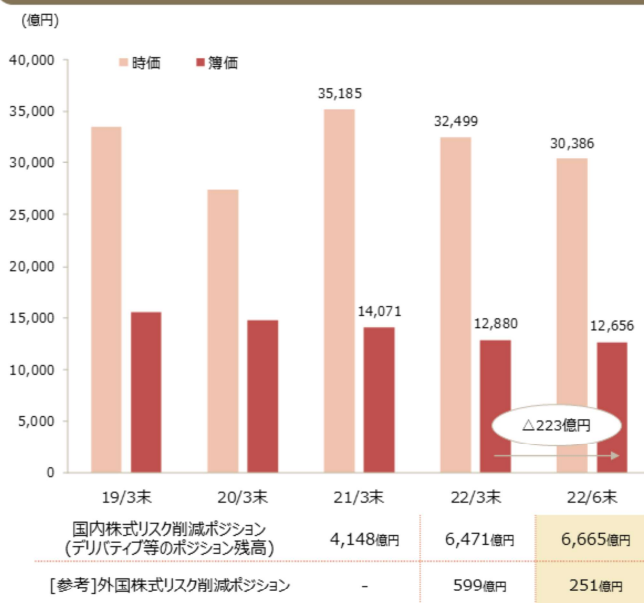
第一生命 - 市場関連リスク削減の取組状況



デレージョンと責任準備金対応債券の積み増し状況⁽¹⁾



国内株式の簿価・時価⁽²⁾



(1) 一般勘定資産のうち主に個人保険・個人年金に係る経理区分の保険負債と円建て固定利付資産(金利スワップを含む)の経済価値ベースのデレージョン、および責任準備金対応債券・デリバティブ残高
責任準備金対応債券とは、保険会社向けに認められた区分で、一定の要件を満たせば簿価原価法による評価が認められているものを指します

(2) 国内株式のうち時価のあるもの(子会社・関連会社株式、非上場国内株式は除く) 22/6末において純投資目的以外の目的で保有する株式(みなし保有株式は除く)の簿価残高は746億円

[グループ各社の業績概要]

国内生命保険事業 – 第一フロンティア生命



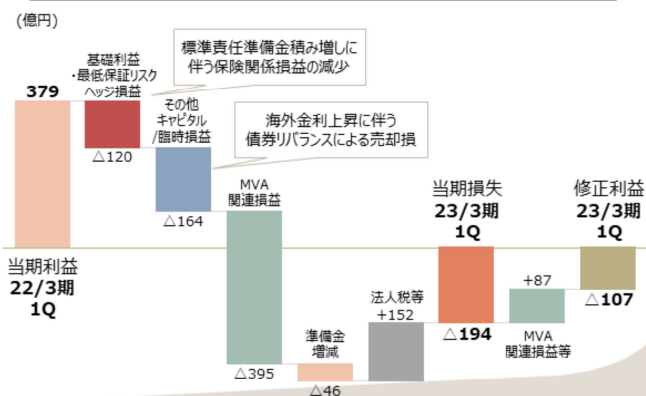
- ▶ 基礎利益は、順ざやは増加したものの標準責任準備金積み増しに伴う保険関係損益の減少等により、△27億円(前年同期は105億円)
- ▶ 当期利益は、円安によるターゲット到達一時益が発生したものの、債券リバランスによる売却損やMVA関連損益△114億円等により、△194億円(前年同期は379億円) MVA関連損益等を除いた修正利益は、△107億円(前年同期は112億円)

単体業績⁽¹⁾

(億円)	22/3期 1Q	23/3期 1Q	前年同期比	(%)
保険料等収入	3,604	5,999	+ 2,395	+ 66%
基礎利益⁽²⁾	105	△ 27	△ 132	-
順ざや・保険関係損益等	209	58	△ 150	
最低保証リスクに係る損益(責任準備金増減等)	△ 103	△ 86	+ 17	
キャピタル損益	364	△ 163	△ 528	
最低保証リスクヘッジ損益	△ 5	7	+ 12	
MVA関連損益	280	△ 114	△ 395	
その他キャピタル損益(有価証券売却損益等)	88	△ 56	△ 144	
臨時損益	△ 9	△ 55	△ 45	
危険準備金繰入(△)/戻入額(+)	△ 9	△ 35	△ 26	
MVA関連損益(再保険関連)	-	-	-	
その他臨時損益(再保険関連収支等)	△ 0	△ 19	△ 19	
経常利益(損失)	460	△ 246	△ 706	-
特別損益	△ 13	△ 15	△ 1	
価格変動準備金繰入(△)/戻入額(+)	△ 13	△ 15	△ 1	
法人税等合計	△ 66	66	+ 133	
当期純利益(損失)	379	△ 194	△ 574	-
基礎利益・最低保証リスクヘッジ損益	100	△ 20	△ 120	
その他キャピタル・その他臨時損益	88	△ 75	△ 164	
MVA関連損益	280	△ 114	△ 395	
危険/価格変動準備金繰入/戻入額・法人税等合計	△ 89	16	+ 105	

(億円)	22/3期 1Q	23/3期 1Q	前年同期比	(%)
修正利益	112	△ 107	△ 219	-

当期純利益(損失)の変動要因および修正利益との差異



(1) 22/3期1Qより各損益の内訳の項目名を修正の上、従来の事業利益を相替へ、一時的な有価証券売却損益等のキャピタル損益やその他臨時損益の再保険関連収支を区分する開示方法に変更しています
(2) 22/3期1Q・23/3期1Qともに基礎利益の算定方法の改正後の基準により記載

[グループ各社の業績概要]

国内生命保険事業 – ネオファースト生命



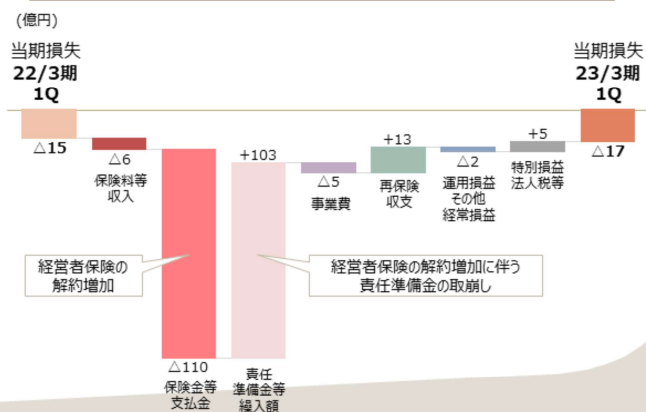
- ▶ 保険料等収入は、医療保険の保有契約は増加したものの、経営者保険の解約等により、前年同期比△2%減少
- ▶ 当期純損失は、コロナ関連の給付金支払い増加や経営者保険の解約増加に伴う保険金等支払金の増加等により、△17億円(前年同期は△15億円)

単体業績

(億円)	22/3期 1Q	23/3期 1Q	前年同期比	(%)
保険料等収入(再保険収入を除く)	293	287	△ 6	△ 2%
保険金等支払金(再保険料を除く)	△ 87	△ 198	△ 110	
保険金・年金・給付金	△ 18	△ 41	△ 23	
解約返戻金・その他返戻金	△ 69	△ 156	△ 86	
責任準備金等繰入額	△ 131	△ 27	+ 103	
危険準備金繰入(△)/戻入額(+)	△ 0	△ 0	+ 0	
事業費	△ 77	△ 82	△ 5	
再保険収支	△ 10	2	+ 13	
資産運用損益・その他経常損益	△ 2	△ 4	△ 2	
資産運用損益	0	1	+ 0	
その他経常損益	△ 3	△ 6	△ 2	
経常利益(損失)	△ 15	△ 23	△ 7	-
特別損益	△ 0	△ 0	+ 0	
法人税等合計	△ 0	5	+ 5	
当期純利益(損失)	△ 15	△ 17	△ 1	-
基礎利益 ⁽¹⁾	△ 15	△ 22	△ 7	-

(億円)	22/3期 1Q	23/3期 1Q	前年同期比	(%)
修正利益	△ 15	△ 17	△ 1	-

当期純利益(損失)の変動要因



(1) 22/3期1Q・23/3期1Qともに基礎利益の算定方法の改正後の基準により記載

[グループ各社の業績概要]

海外保険事業 – 米プロテクティブ

(22/12期2Q(4-6月)決算は、現地8/12頃の公表を予定)



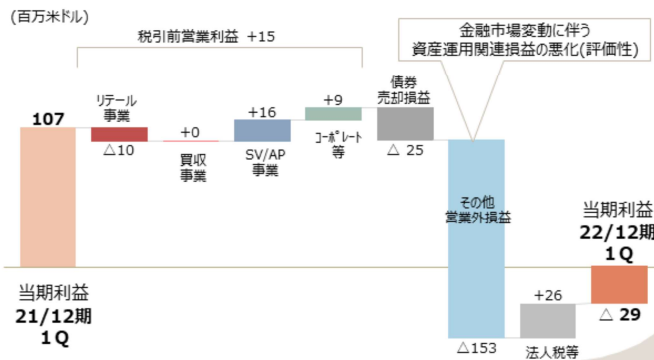
- ▶ 営業利益は、リテール保険事業の利益が悪化したものの、資産運用収益の上振れ等によるステーブルバリュー事業の利益増加やコーポレート等の損益回復が寄与し、前年同期比+20%増加の91百万米ドル
- ▶ 当期純損失は、主に金融市場変動影響による営業外損益の悪化(評価損等)から、前年同期比大幅減少の△29百万米ドル

単体業績

(百万米ドル)	21/12期 1Q	22/12期 1Q	前年同期比	(%)
保険料等収入	1,594	1,629	+ 34	+ 2%
税引前営業利益⁽¹⁾	75	91	+ 15	+ 20%
リテール保険&年金	△ 17	△ 27	△ 10	-
買収	77	77	+ 0	+ 1%
ステーブルバリュー(SV)	31	42	+ 10	+ 33%
アセットプロテクション(AP)	9	14	+ 5	+ 58%
コーポレート等	△ 25	△ 16	+ 9	-
営業外損益(償却調整後)	50	△ 128	△ 179	
債券売却損益	30	4	△ 25	
債券評価損・株式評価損益等	△ 3	△ 92	△ 89	
商業モーゲージローン貸倒引当金増減	56	20	△ 35	
修正共同保険式再保険に関する損益	△ 37	△ 93	△ 56	
デリバティブ損益(変動/定額年金等)	84	108	+ 24	
市場変動に伴う変動商品のDAC償却等の変動 ⁽²⁾	8	△ 20	△ 28	
営業外損益に係るDAC等償却の変動	△ 87	△ 55	+ 31	
法人税等	△ 18	7	+ 26	
当期純利益(損失)	107	△ 29	△ 137	-
当期純利益 ※円換算後: 億円	119	△ 36	△ 155	-
決算為替レート(対円)	110.71	122.39	+ 11.68	+ 11%

(億円)	21/12期 1Q	22/12期 1Q	前年同期比	(%)
修正利益	119	△ 36	△ 155	-

当期純利益(損失)の変動要因



(1) 純利益から資産運用やデリバティブにおけるキャピタル損益を控除した利益指標

[グループ各社の業績概要]

海外保険事業 – 豪TAL



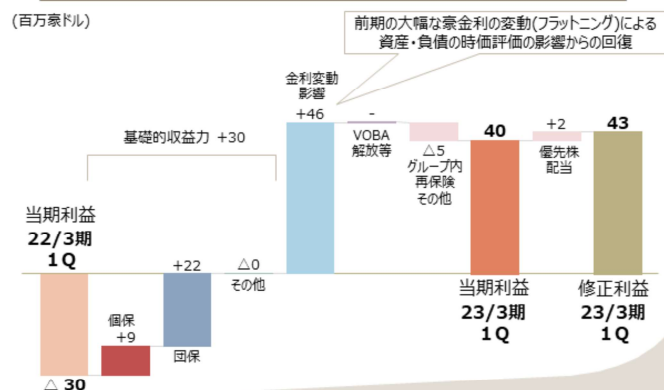
- ▶ 基礎的収益力は、主に団体保険セグメントの主要スキームの損益が良好だったことや、個人保険セグメントの改善により、前年同期比+70%増加の74百万豪ドル
- ▶ 当期純利益は、基礎的収益力の増益に加え、前期における大幅な豪金利の変動(フラットニング)による資産・負債の時価評価の悪影響から回復し、40百万豪ドル

単体業績

(百万豪ドル)	22/3期 1Q	23/3期 1Q	前年同期比	(%)
保険料等収入	1,559	1,639	+ 79	+ 5%
基礎的収益力(税引後)⁽¹⁾	43	74	+ 30	+ 70%
個人保険	42	51	+ 9	+ 22%
団体保険	12	35	+ 22	+ 173%
その他(基礎的項目)	△ 11	△ 11	△ 0	-
基礎的収益外損益(税引後)	△ 74	△ 33	+ 40	
金利変動に伴う資産・保険負債の変動	△ 48	△ 1	+ 46	
VOBAの解放・VIF償却	△ 4	△ 4	-	
優先株配当等	△ 3	△ 2	+ 1	
グループ内再保険(出再)の影響 ⁽²⁾	△ 6	△ 17	△ 10	
その他	△ 10	△ 7	+ 3	
当期純利益(損失)	△ 30	40	+ 71	-
当期純利益(損失) ※円換算後: 億円	△ 25	38	+63	-
決算為替レート(対円)	83.12	93.90	+ 10.78	+ 13%

(億円)	22/3期 1Q	23/3期 1Q	前年同期比	(%)
修正利益	△ 23	40	+64	-

当期純利益(損失)の変動要因および修正利益との差異



(1) 22/3期3Qより、全保有契約等のTALへの移転・統合に伴い、旧アステロン・ライフの基礎的収益力を個人保険・団体保険・その他(基礎的項目)に組み替え、過年度の数値を併せて修正しています
(2) グループ資本効率の観点から、豪TALよりグループ会社(DL)へ再保険(出再)を行ったことに伴う損益を記載しています

[グループ各社の業績概要]

海外保険事業 – 第一生命ベトナム



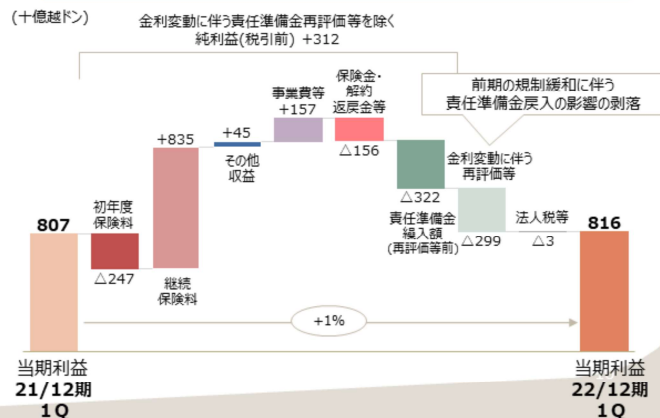
- ▶ 大都市でコロナ禍による影響が継続し活動量が低下したものの、継続保険料が大きく拡大し、保険料等収入は前年同期比+15%増加
- ▶ 当期純利益は、前期に計上された一部商品の規制緩和に伴う責任準備金戻入の影響が剥落したものの、継続保険料の拡大が寄与し、前年同期比微増の816十億越ドン

単体業績

(十億越ドン)	21/12期 1Q	22/12期 1Q	前年同期比	(%)
保険料等収入(再保険収入を除く)	4,041	4,629	+ 588	+ 15%
初年度保険料	1,608	1,360	△ 247	△ 15%
継続保険料 ⁽¹⁾	2,433	3,268	+ 835	+ 34%
その他収益	364	410	+ 45	
資産運用収益等	505	542	+ 36	
再保険収支	△ 141	△ 131	+ 9	
事業費等	△ 2,105	△ 1,947	+ 157	
初年度販売手数料・経費等	△ 1,677	△ 1,511	+ 166	
継続手数料・事務管理費	△ 428	△ 436	△ 8	
保険金・解約返戻金等	△ 412	△ 569	△ 156	
責任準備金繰入額等	△ 879	△ 1,500	△ 621	
責任準備金繰入額(再評価等考慮前)	△ 1,214	△ 1,537	△ 322	
金利変動に伴う責任準備金再評価等	335	36	△ 299	
法人税等	△ 202	△ 205	△ 3	
当期純利益(損失)	807	816	+ 9	+ 1%
当期純利益(損失) ※円換算後: 億円	38	44	+ 5	+ 14%
決算為替レート(対円)	0.0048	0.0054	+ 0.0006	+ 13%
金利変動に伴う責任準備金再評価等を除く純利益(税引後)	538	787	+ 248	+ 46%

(億円)	21/12期 1Q	22/12期 1Q	前年同期比	(%)
修正利益	38	44	+5	+14%

当期純利益(損失)の変動要因



(1) 契約より2年目以降の保険料収入

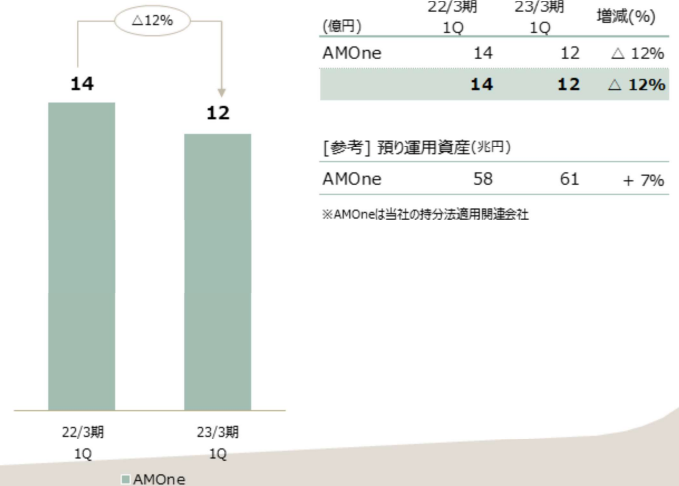
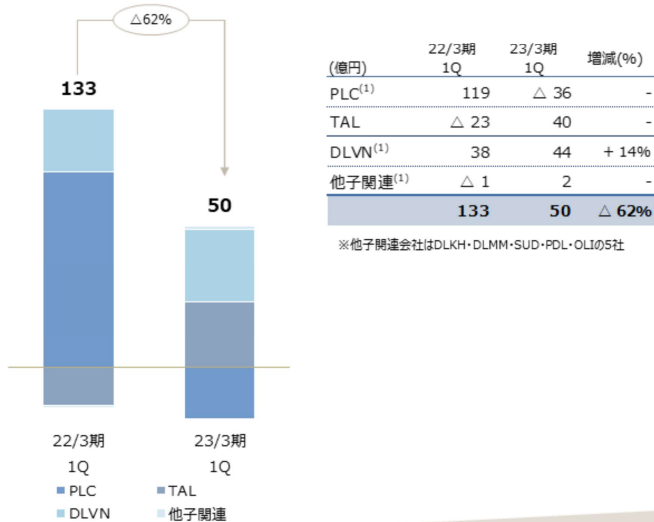
[グループ各社の業績概要]

海外保険事業・その他事業(アセットマネジメント事業)

- ▶ 海外保険事業の修正利益は、TALの利益回復やDLVN(ベトナム)の利益拡大に支えられた一方、米PLCの大幅な損益悪化により、前年同期比△62%減少の50億円
- ▶ アセットマネジメント事業は、金融市場変動の影響により、前年同期比△12%減少の12億円

海外保険事業 修正利益合計

その他事業(アセットマネジメント事業) 修正利益合計



(1) 決算日が12月31日の子関連会社はPLC・DLVN・DLKH・DLMM・PDL・OLIの6社です

グループEEV (European Embedded Value)

▶ グループEEVは、主にDLにおいて国内株式市場の下落に伴う含み益の減少等を受け、前期末比約△1,100億円減少の約7兆400億円

(億円)	22/3末	22/6末 (概算値)	増減
第一生命グループEEV	71,509	約70,400	約△1,100
対象事業 (covered business) のEEV ⁽¹⁾	72,000	約68,900	約△3,100
修正純資産	60,358	約46,400	約△14,000
保有契約価値	11,642	約22,500	約+10,900
対象事業以外の純資産等に係る調整 ⁽²⁾	△491	約1,600	約+2,100

[参考] 現地通貨建

(億円)	22/3末	22/6末 (概算値)	増減	(億円)	21/12末	22/3末 (概算値)	増減	(億円)	21/12末	22/3末 (概算値)	増減
DL	49,766	約46,600	約△3,200	米PLC	8,819	約9,100	約+300		7,667	約7,500	約△200
修正純資産	49,441	約38,100	約△11,300	修正純資産	4,285	約4,100	約△200		3,726	約3,400	約△400
保有契約価値	324	約8,400	約+8,100	保有契約価値	4,533	約5,000	約+500		3,941	約4,100	約+100
(億円)	22/3末	22/6末 (概算値)	増減	(億円)	22/3末	22/6末 (概算値)	増減		22/3末	22/6末 (概算値)	増減
DFL	5,855	約5,700	約△200	豪TAL	4,553	約4,400	約△100		4,949	約4,700	約△200
修正純資産	3,620	約1,100	約△2,500	修正純資産	2,409	約2,300	約△100		2,618	約2,500	約△200
保有契約価値	2,234	約4,500	約+2,300	保有契約価値	2,143	約2,100	約△40		2,330	約2,200	約△100

(米PLC: 百万米ドル TAL: 百万豪ドル)

(1) 対象事業 (covered business) とは、EEV原則で定められているEV手法を適用した範囲のことで、EEV原則では、対象事業のEEVを開示することを求めています

第一生命グループでは従前は、第一生命グループが行うすべての事業を対象事業としていましたが、2016年10月1日付の持株会社体制移行後は、生命保険事業を行う子会社(DL、DFL、NFL、米PLC、豪TAL、DLVN(ベトナム)およびこれらの子会社)を対象事業としました

(2) 「対象事業以外の純資産等に係る調整」には、第一生命ホールディングスの単体貸借対照表の純資産の部(22/3末: 12,662億円、22/6末: 約14,200億円)、第一生命ホールディングスの生命保険事業子会社6社に対する出資に係る調整(22/3末: △14,154億円、22/6末: 約△13,900億円)、第一生命ホールディングスが保有する資産・負債を時価評価する調整が含まれます

資産・負債の対応を考慮したEEVの再分類

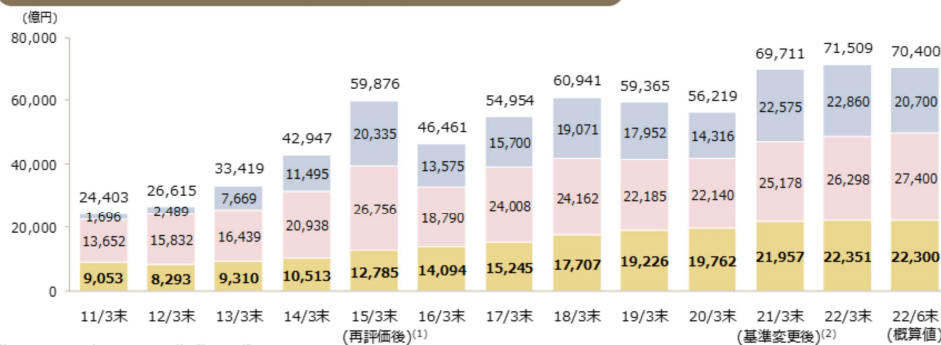
第一生命グループのEEV（億円）

(億円)	22/3末	22/6末 (概算値)	増減
第一生命グループEEV	71,509	約70,400	約△1,100
対象事業(covers business)のEEV	72,000	約68,900	約△3,100
修正純資産	60,358	約46,400	約△14,000
保有契約価値	11,642	約22,500	約+10,900
対象事業以外の純資産等に係る調整	△491	約1,600	約+2,100

資産・負債の対応を考慮した再分類

(億円)	22/3末	22/6末 (概算値)	増減
第一生命グループEEV	71,509	約70,400	約△1,100
確定利付資産以外の含み損益等 ⁽³⁾	22,860	約20,700	約△2,100
保有契約価値+確定利付資産の含み損益等 ⁽⁴⁾	26,298	約27,400	約+1,100
純資産等+負債中の内部留保 ⁽⁵⁾	22,351	約22,300	約△0

資産・負債の対応を考慮した再分類による第一生命グループEEVの推移



保有契約価値+含み損益等:
保険契約の保有により生じる将来利益

確定利付資産以外の含み損益等⁽³⁾

保有契約価値+確定利付資産の含み損益等⁽⁴⁾

純資産等+負債中の内部留保⁽⁵⁾
: 実現利益の累積額に相当

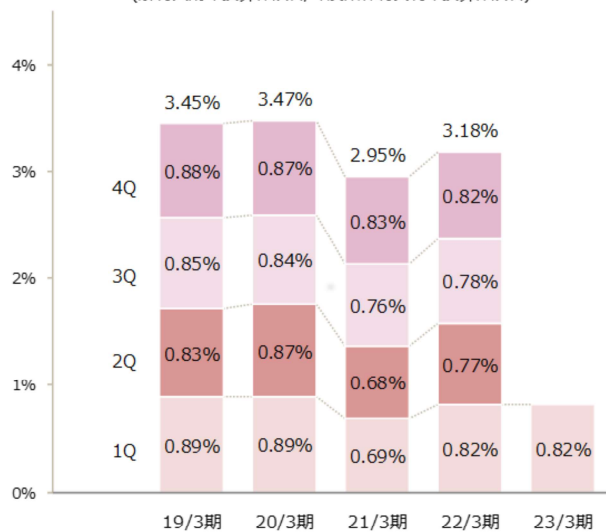
- (1) 終局金利を用いた方法による再評価後の数値を記載
 (2) 21/3期より基準変更(円金利の超長期補外のための終局金利等の変更、DFLの負債評価に用いる割引率への仕債スプレッドの反映)を実施
 (3) DLが保有する確定利付資産以外の資産(株式、外貨建債券(ヘッジ外債を除く)、不動産等)の含み損益等の額を計上
 (4) 保有契約価値に、DLの確定利付資産ならびにDFLおよびNFLの資産の含み損益等を加算・調整した額を計上
 本項目は、未実現利益のうち、主に金利の影響を受ける部分であり、金利水準等の変化に因じた、保有契約価値および確定利付資産の含み損益等の変動額は、お互いに相殺関係にあります
 (5) 対象事業のEEVの修正純資産に対象事業以外の純資産等に係る調整を反映し、含み損益等を除いた額を計上

参考データ

[第一生命] 営業関連指標 – 解約失効・営業職数および生産性

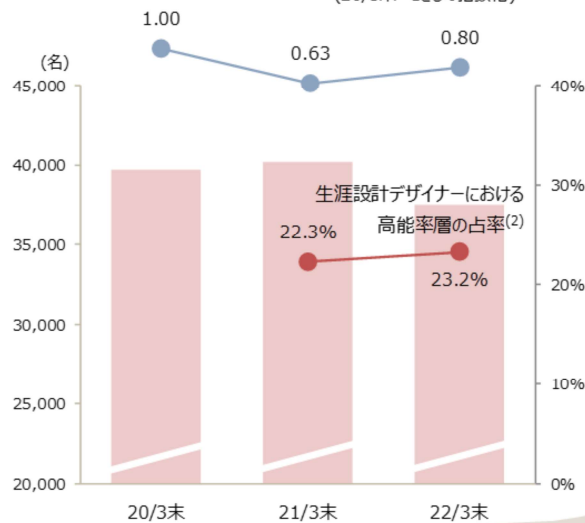
解約失効(個人保険・個人年金 年換算保険料ベース)

解約失効率
(解約失効年換算保険料/年度始保有契約年換算保険料)



生涯設計デザイナーの営業生産性と高能率層の占有率

一人あたり営業収益価値⁽¹⁾
(20/3末=1として指数化)



[参考]生涯設計デザイナー数(ライフプロフェッショナル職を含む)

(1) 各期の営業収益価値(営業部門の獲得収益を表す当社独自の指標であり、経済環境の変動要因を除いた新契約価値に相当)を分子、入社初年度を除く生涯設計デザイナー数を分母として計算
(2) 所定の資格水準を満たす、お客さまに対するコンサルティング能力の高い生涯設計デザイナーの割合です

[第一生命] 資産運用の状況① - 資産運用収益・費用の内訳

利息・配当金等収入の内訳

(億円)	22/3期 1Q	23/3期 1Q	前期比	(%)
利息・配当金等収入	2,132	2,151	+ 18	+ 1%
公社債	672	677	+ 5	+ 1%
株式	101	88	△ 12	△ 13%
外国証券	815	1,006	+ 191	+ 24%
その他の証券	253	91	△ 162	△ 64%
買付金	98	95	△ 2	△ 3%
不動産	178	173	△ 5	△ 3%

[参考] 22/3期 有価証券運用利回り

(億円)	利息・配当金等収入	日々平均残高	利回り ⁽¹⁾
一般勘定計	8,311	350,809	2.37%
公社債	2,694	166,665	1.62%
株式	744	14,056	5.30%
外国証券	3,208	101,445	3.16%
その他の証券	509	8,748	5.82%
買付金	388	25,766	1.51%
不動産 ⁽²⁾	711	7,909	9.00%

有価証券売却損益・有価証券評価損の内訳

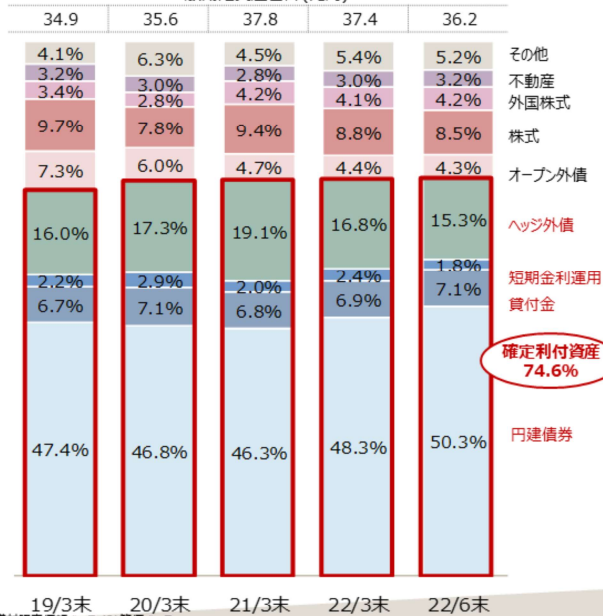
(億円)	22/3期 1Q	23/3期 1Q	前期比	(%)
有価証券売却益	1,147	1,633	+ 485	+ 42%
公社債	572	209	△ 362	△ 63%
株式	97	433	+ 336	+ 347%
外国証券	463	954	+ 490	+ 106%
その他の証券	14	35	+ 20	+ 141%
有価証券売却損	501	1,055	+ 553	+ 110%
公社債	1	84	+ 82	+ 4,713%
株式	40	14	△ 26	△ 65%
外国証券	289	902	+ 612	+ 211%
その他の証券	169	54	△ 114	△ 68%
有価証券売却損益	646	578	△ 68	△ 11%
有価証券評価損	22	37	+ 14	+ 64%
公社債	-	-	-	-
株式	22	15	△ 7	△ 32%
外国証券	0	21	+ 21	+ 11,567%
その他の証券	-	-	-	-

(1) 利息・配当金等収入を分子、日々平均残高を分母として計算
(2) 投資用不動産

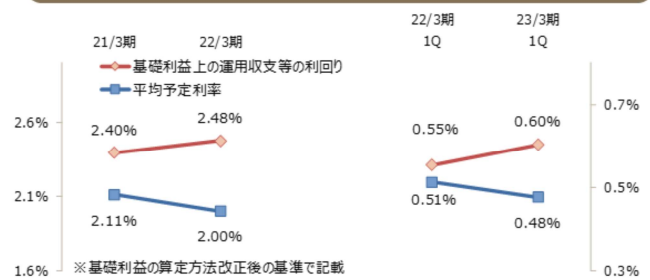
[第一生命] 資産運用の状況② - 運用資産構成・資産運用利回りと平均予定利率

運用資産の構成(一般勘定)⁽¹⁾

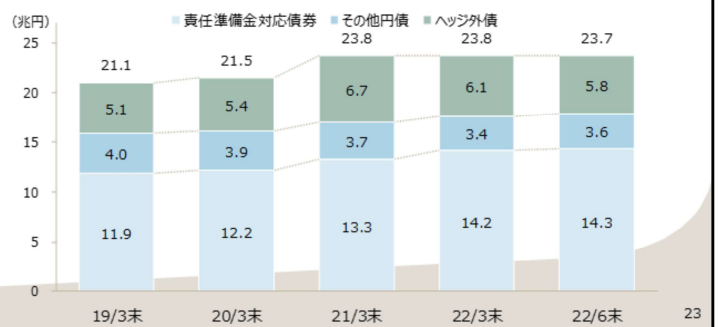
一般勘定資産合計(兆円)



資産運用利回りと平均予定利率



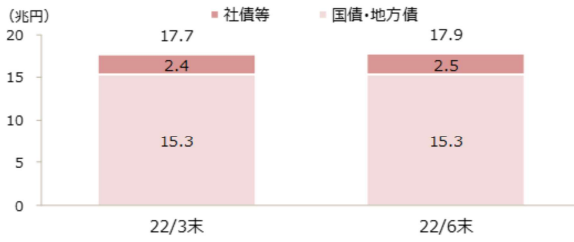
確定利付資産における債券積み増し状況⁽²⁾



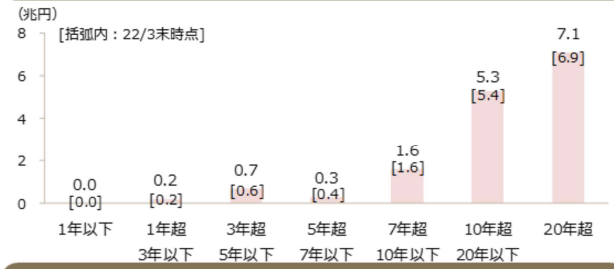
(1) 貸借対照表価額ベース (2) 簿価ベース

[第一生命] 資産運用の状況③ - 円建・外貨建債券の状況

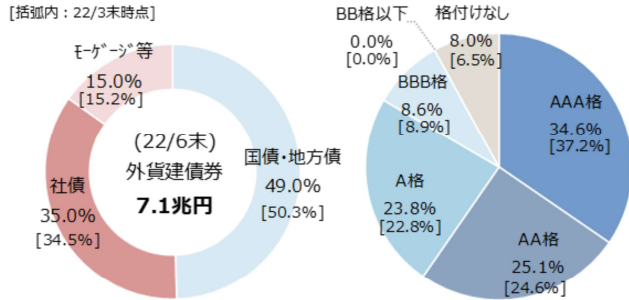
円建債券の内訳⁽¹⁾



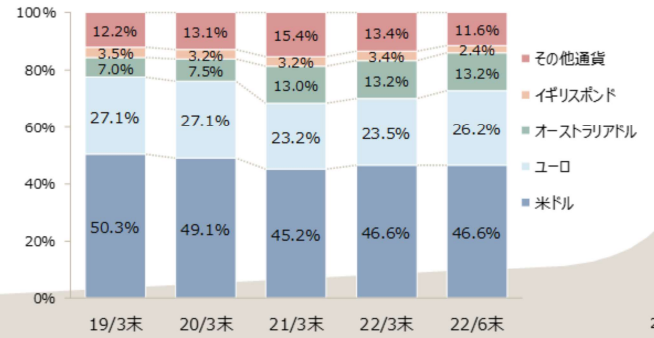
国債の残存期間別残高⁽²⁾ (22/6末)



外貨建債券の内訳⁽²⁾⁽³⁾ (22/6末)



外貨建債券の通貨別構成⁽²⁾



(1) 簿価ベース
(2) 買値対照表価額ベース
(3) 格付けはS&P・Moodyの2社の格付け機関による格付けの中間の評価を採用。モーゲン等を除く

[第一生命] 健全性指標 - 含み損益とソルベンシー・マージン比率

含み損益(一般勘定)の状況

(億円)	22/3末	22/6末	前期末比	(%)
有価証券	44,392	30,415	△ 13,977	△ 31%
国内債券	18,042	11,183	△ 6,859	△ 38%
外国債券	3,787	△ 690	△ 4,478	△ 118%
うち為替ヘッジ付外貨建債券	1,397	△ 2,526	△ 3,924	△ 281%
国内株式	19,619	17,729	△ 1,890	△ 10%
外国株式	2,568	1,973	△ 594	△ 23%
不動産	4,876	4,839	△ 37	△ 1%
一般勘定資産合計	49,133	34,835	△ 14,298	△ 29%

含み損益の市場感応度⁽¹⁾

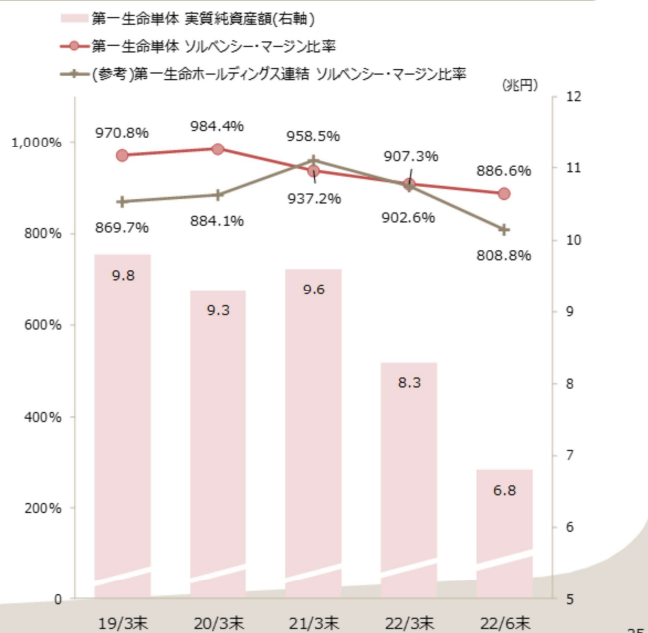
含み損益ゼロ水準⁽²⁾

国内債券	10年国債利回り10bpの変動で2,800億円の増減※ (2022年3月末: 2,900億円) ※その他有価証券区分: 200億円の増減 (2022年3月末: 200億円)	10年国債利回り 0.6%※ (2022年3月末: 0.8%) ※その他有価証券区分: 1.4% (2022年3月末: 1.5%)
国内株式	日経平均株価1,000円の変動で1,100億円の増減 (2022年3月末: 1,100億円)	日経平均株価 ¥10,900 (2022年3月末: ¥11,000)
外国証券	ドル/円 1円の変動で180億円の増減 (2022年3月末: 210億円)	ドル/円 \$1 = ¥114 (2022年3月末: ¥107)

(1) 各指標に対応する資産の時価総額の感応度

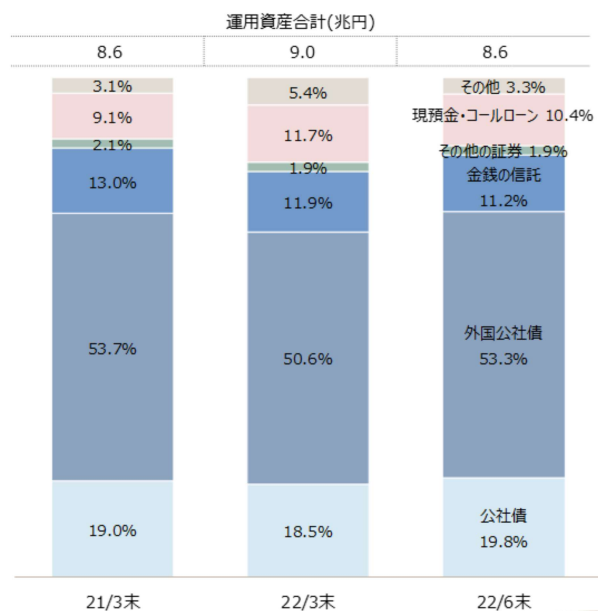
(2) 各指標に対応する資産の含み損益がゼロになる水準であり、外国証券はドル円換算にて算出した、為替要因のみの含み損益がゼロになる水準

ソルベンシー・マージン比率および実質純資産額



[第一フロンティア生命] 資産運用の状況 - 運用資産構成

運用資産の構成(一般勘定) ⁽¹⁾

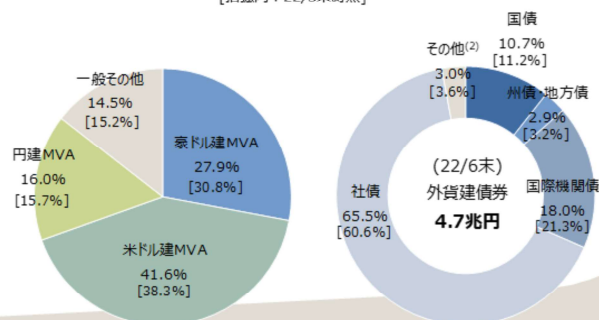


保有目的区分別有価証券の状況 (22/6末)

(億円)	簿価	時価	含み損益
責任準備金対応債券	40,375	38,582	△ 1,793
その他の有価証券	25,831	24,852	△ 979
公社債	5,072	5,047	△ 25
外国証券	18,901	17,965	△ 936
その他の証券	1,699	1,683	△ 15

運用区分別資産残高(一般勘定)と外貨建債券の内訳

[括弧内：22/3末時点]

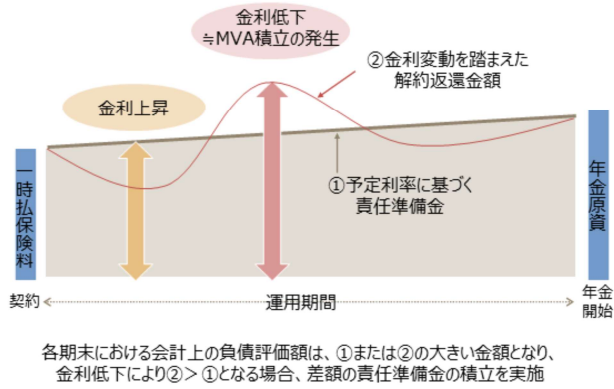


(1) 貸借対照表価額ベース
(2) 国債・社債を裏付けとする仕組み債を含みます

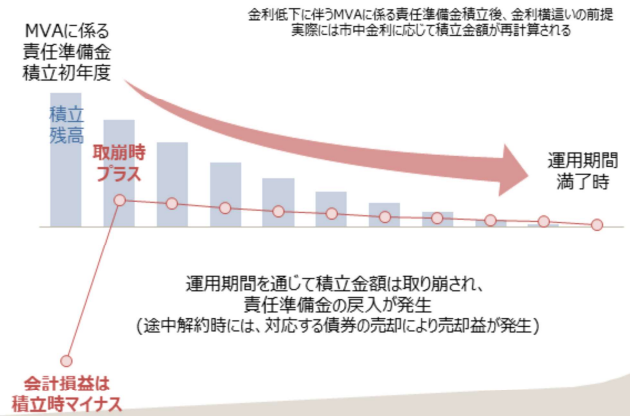
MVA(市場価格調整)関連損益について

- ▶ MVA(市場価格調整)付き商品の負債は、会計上、金利低下により「金利変動を踏まえた解約返還金額」が「予定利率に基づく責任準備金」を上回る場合、差額の責任準備金の積立が発生
- ▶ MVAに係る損益は、期間を通算すれば収支への影響はニュートラルなことから、グループ修正利益には含めない

MVAに係る責任準備金の積立発生(イメージ)



MVAに係る責任準備金残高と会計損益への影響(イメージ)



[米プロテktiv・豪TAL] 営業の状況 – セグメント別営業業績

米プロテktiv 営業業績

(百万米ドル)	21/12期 1Q	22/12期 1Q	前年同期比	(%)
リテール保険&年金事業	1,161	1,280	+ 119	+ 10%
伝統的保険	62	57	△ 5	△ 8%
ユニバーサル保険	16	25	+ 9	+ 56%
BOLI/COLI ⁽¹⁾	421	836	+ 415	+ 99%
定額年金	443	189	△ 254	△ 57%
変額年金	219	173	△ 46	△ 21%
ステーブルバリュー事業	875	1,705	+ 830	+ 95%
アセットプロテクション事業	163	169	+ 6	+ 4%

豪TAL 営業業績⁽²⁾

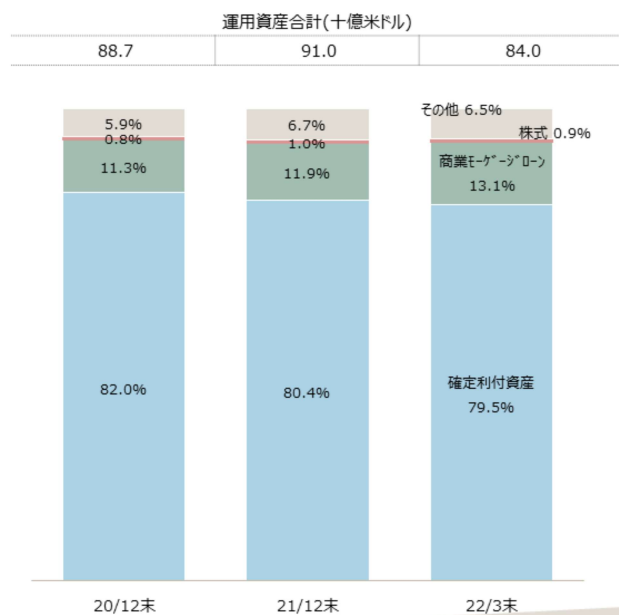
(百万豪ドル)	22/3期 1Q	23/3期 1Q	前年同期比	(%)
新契約年換算保険料	28	25	△ 3	△ 11%
(TAL) 個人保険	19	14	△ 4	△ 25%
団体保険	9	11	+ 1	+ 19%
アステロン・ライフ	0	-	△ 0	-
既契約増減	78	102	+ 23	+ 29%
(TAL) 個人保険	47	55	+ 8	+ 17%
団体保険	11	47	+ 35	+ 301%
アステロン・ライフ	20	-	△ 20	-

※既契約増減は契約更新や料率改定等に伴う既契約の年換算保険料の増減を示す

(1) BOLI(Bank Owned Life Insurance)/COLI(Corporate Owned Life Insurance)と呼ばれる、契約者・受取人を法人、被保険者を従業員とする福利厚生等を目的とした生命保険です
(2) 22/3期3Qより、全保有契約等のTALへの移転・統合に伴い、旧アステロン・ライフの新契約年換算保険料・既契約増減を(TAL)個人保険・団体保険に含めて記載しています

[米プロテクティブ] 資産運用の状況 - 運用資産構成

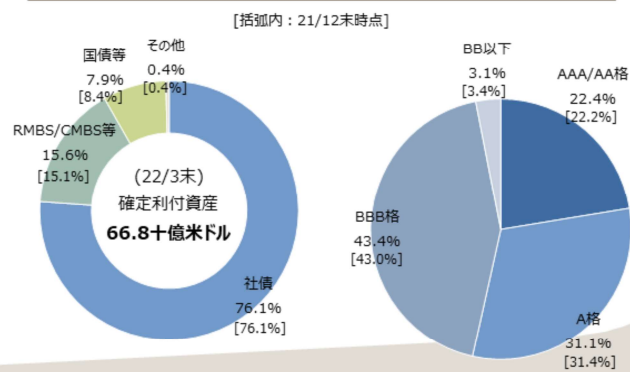
運用資産の構成(一般勘定) (1)



商業モーゲージローンの状況

(百万米ドル)	21/12末	22/3末	増減
商業モーゲージローン(引当前)	10,966	11,089	+ 123
不良債権	-	-	-
貸倒引当金	103	80	△ 23
(対ローン残高)	0.9%	0.7%	△ 0.22%pt

確定利付資産の内訳および格付構成



(1) 貸倒対照表価額ベース

グループ修正利益



Dai-ichi Life
Holdings

(億円)		No.	14/3期	15/3期	16/3期	17/3期	18/3期	19/3期	20/3期	21/3期	22/3期 1Q	22/3期	23/3期 1Q
国内生命保険事業													
第一生命	当期利益	1	855	1,521	1,291	1,171	1,699	1,729	1,286	1,960	874	1,997	1,003
	調整 (1) 危険準備金繰入額 (法定超過分、税後)	2	249	192	129	129	-	-	216	△216	-	-	-
	調整 (2) 債務変動準備金繰入額 (法定超過分、税後)	3	97	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	調整 (3) MVA (市場価格調整) 関連損益 (税後)	4	△6	△2	△4	△2	△0	△0	△0	△0	△0	△0	△0
	調整 (4) 持分変動益	5	-	-	-	-	-	△14	-	-	-	-	-
	調整額合計	6	340	189	125	127	△0	△14	216	△216	△0	△0	△0
	修正利益	7	1,195	1,711	1,416	1,299	1,698	1,714	1,502	1,744	874	1,997	1,003
第一フロンティア生命	当期利益	8	△152	△219	243	502	370	199	△1,000	863	379	1,386	△194
	調整 (1) 危険準備金繰入額 (法定超過額、税後)	9	-	-	-	-	-	-	△300	480	-	15	-
	調整 (2) 債務変動準備金繰入額 (法定超過額、税後)	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	調整 (3) MVA (市場価格調整) 関連損益 (税後)	11	△9	469	75	△270	△79	7	1,935	△772	△267	△815	87
	調整 (4) グループ運営制度の導入	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	△395	-
	調整額合計	13	△9	469	75	△270	△79	7	1,635	△292	△267	△1,196	87
	修正利益	14	△161	249	318	232	291	207	634	571	112	190	△107
ネオファースト生命	当期利益	15	-	4	△71	△59	△83	△85	△163	△141	△15	△68	△17
	調整 グループ運営制度の導入	16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	△13	-
	修正利益	17	-	4	△71	△59	△83	△85	△163	△141	△15	△81	△17
	修正利益	18	1,034	1,966	1,664	1,471	1,906	1,836	1,974	2,174	970	2,106	879
海外保険事業													
プロテクト	修正利益	19	-	-	323	457	349	335	507	374	119	549	△36
TAL	修正利益	20	86	121	103	127	105	98	110	152	△23	123	40
第一生命ベトナム	修正利益	21	10	13	5	5	△20	2	60	59	38	141	44
海外保険事業修正利益		22	108	157	457	615	468	469	703	602	133	830	50
Dai-ichi Re	修正利益	23	-	-	-	-	-	-	-	-	3	0	△20
その他事業(アセットマネジメント事業)		24	44	61	59	58	53	104	120	99	14	52	12
持株会社・中間持株会社	修正利益	25	-	-	-	0	3	△35	△44	△40	13	△20	△4
連結調整	調整 (1) 受取配当損益	26	27	36	135	44	-	-	-	-	-	-	-
	調整 (2) TAL優先株配当	27	-	-	-	-	-	10	8	7	1	7	2
	調整 (3) のれん償却額	28	51	86	63	56	70	82	564	57	16	69	18
	調整 (4) 持分変動益 (第一生命)	29	-	-	-	-	-	14	-	-	-	-	-
	調整 (5) 持分変動益 (持株会社)	30	-	-	-	△124	△335	-	-	△349	-	-	-
	調整 (6) 米留法人税減税	31	-	-	-	-	△901	-	-	-	-	-	-
	調整 (7) その他	32	△1	△22	△3	0	39	23	5	△8	0	7	△2
グループ修正利益 (項額33=18+22+23+24+25-26-27)		33	1,160	2,147	2,046	2,101	2,432	2,363	2,745	2,828	1,133	2,961	914
連結当期純利益 (項額34=33-6-13-16-28-29-30-31-32)		34	779	1,424	1,785	2,312	3,639	2,250	324	3,637	1,384	4,093	811

[再掲] 基礎利益の算定方法改正の反映について

- ▶ 22/3期において、経済的な実態の反映および保険会社間の取扱いに一貫性を持たせる観点から、基礎利益の算定方法の改正が予定されている
当社グループの通期業績予想の基礎利益は本改正を反映しており、1Qより改正後基準により基礎利益の開示等を行う
- ▶ 前期実績に本改正を反映した場合、基礎利益(順ざや)が△887億円減少するが、経常利益・当期損益、当社グループの実質的な収益力を示す修正利益に変動はない

基礎利益の改正に伴う変動額

[改正前]		改正に伴う変動額(DL単体22/3期実績)		[改正後]	
(億円)	22/3期			22/3期	差異
基礎利益	4,964	[順ざやから除外 → キャピタル損益へ計上]		4,076	△ 887
うち順ざや	2,195	①投資信託の解約損益 460 +626		1,307	△ 887
うち保険関係損益	2,768	②有価証券償還損益のうち為替変動部分 166		2,768	-
キャピタル損益	685	[為替差損益から除外 → 順ざやへ含める]		1,573	+ 887
うち為替差損益	△ 104	④為替に係るヘッジコスト △260		156	+ 260
臨時損益	△ 1,860			△ 1,860	
経常利益	3,789			3,789	
当期純利益	1,997	※経常利益・当期純利益・修正利益は、		1,997	
修正利益	1,997	変動しない		1,997	

③再保険に関する損益の改正は、当社グループは既に改正後の基準を採用しているため、改正の影響はない

改正項目	改正の方向性
① 投資信託の解約損益	基礎利益の算定から除外
② 有価証券償還損益のうち為替変動部分	
③ 再保険に関する損益	
④ 為替に係るヘッジコスト	基礎利益の算定に含める

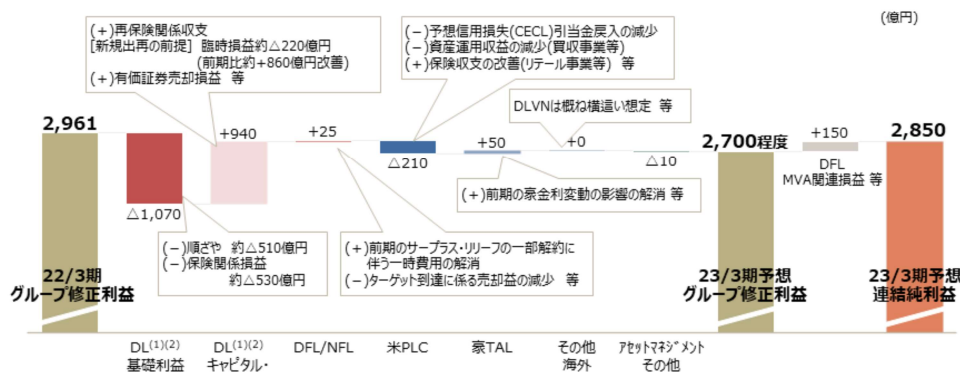
国内生保各社の変動額

(億円)		[改正前]	[改正後]	差異
22/3期	DL	4,964	4,076	△887
国内生保	DFL	439	439	△0
各社	NFL	△79	△79	-

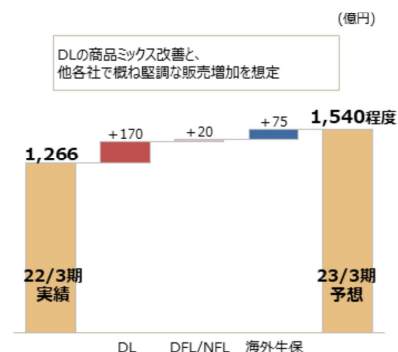
[再掲] 2023年3月期 グループ修正利益・新契約価値予想

- ▶ DLはヘッジコスト上昇や新型コロナの保険金支払等に伴う基礎利益の減少を、再保険関係収支や有価証券売却損益の改善が補う想定
金利動向や前期での出再規模の拡大等を踏まえ、23/3期の新規出再は責任準備金約1,000億円程度を予算上織り込み
- ▶ 米PLCは、コロナに伴う保険金支払状況等に一定の改善を想定するものの、前期の一時的な資産運用収益の反動減が影響
- ▶ グループ新契約価値は、DLの収益寄与の小さい保障見直しの減少等による商品ミックスの改善や他各社の販売増加を想定

グループ修正利益予想・前期比変動要因



グループ新契約価値予想・前期比変動要因



	23/3期 予想	3,000 程度	△1,130	135	340	175	160	15	2,700 程度	+150	2,850
22/3期	4,076	△2,078	108	549	123	158	23	2,961	+1,132	4,093	

	860	285	390	1,540 程度
22/3期	686	263	315	1,266

(1) 基礎利益は税前を記載しており、DLにおける法人税等の変動は、キャピタル・臨時損益等に含めています
(2) 23/3期予想・22/3期ともに基礎利益の算定方法の改正後の基準により記載

[再掲] 修正ROE定義および過去実績

修正ROE = [分子] 修正利益 ÷ [分母] 修正ROE用純資産(年度始・年度末平均)

修正ROE用純資産 = 純資産 - のれん - 確定利付資産含み損益(税後)* + 第一フロンティア生命におけるMVA残高(税後)

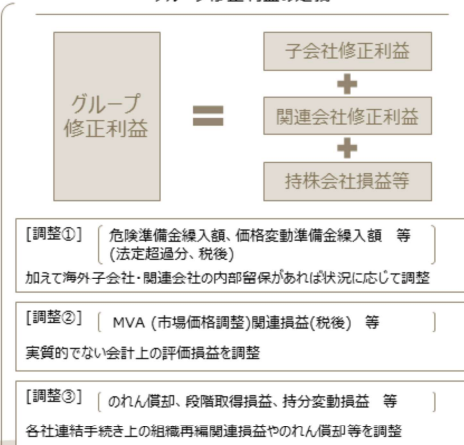
* 第一生命・ネオファースト生命: 確定利付資産含み損益⁽¹⁾のうち、その他有価証券評価差額金に計上される金額(税後)
第一フロンティア生命・プロテクト: その他有価証券評価差額金

修正ROE過去実績

	18/3期	19/3期	20/3期	21/3期	22/3期
(億円 / %)					
グループ修正ROE	8.5%	7.6%	9.5%	8.9%	8.0%
分子 (修正利益)	2,432	2,363	2,745	2,828	2,961
分母 (年度始・年度末平均)	28,565	30,958	28,753	31,723	37,146
分母 (年度末)	31,008	30,907	26,599	36,847	37,444
[分母算出]					
純資産	37,479	37,124	37,758	48,062	44,078
(-) のれん	514	489	394	426	562
(-) 確定利付資産含み損益	6,035	5,956	12,588	12,005	6,287
(+) [第一フロンティア生命] MVA残高	79	228	1,824	1,218	216
修正ROE用純資産	31,008	30,907	26,599	36,847	37,444
うち株主資本	15,896	17,088	16,415	18,936	19,963
第一生命 修正ROE	8.0%	7.6%	7.9%	8.4%	8.2%
分子 (修正利益)	1,698	1,714	1,502	1,744	1,997
分母 (年度始・年度末平均)	21,274	22,436	19,138	20,771	24,505
分母 (年度末)	23,096	21,777	16,500	25,043	23,967
[分母算出]					
純資産	28,882	28,852	25,499	31,902	27,569
(-) 確定利付資産含み損益	5,786	7,075	8,998	6,858	3,602
修正ROE用純資産	23,096	21,777	16,500	25,043	23,967
うち株主資本	6,960	6,841	6,301	6,791	6,315

(1) 主に円建債券・買入金銭債券・為替ヘッジ付外貨建債券・確定利付資産を主たる投資対象とする投資信託等の含み損益を定義としています

グループ修正利益の定義



株主還元方針

株主還元方針

機動的・柔軟な
追加還元の検討
(21/3期より)

- ・ 総還元性向の目安
中期平均 50%

追加還元検討における考慮要素

資本充足率(ESR)水準
市場関連リスク・感応度削減の状況

持株会社キャッシュの状況
グループ財務レバレッジ

戦略投資機会の有無
当社株価等

〔自己株式消却方針〕
用途が見込まれない自己株式は保有しないものとし、
用途が見込まれない自己株式を保有している状態が生じた場合には、
適切な時期に自己株式の消却を行います

〔総還元性向の
推移イメージ〕

追加還元の規模・タイミング等は戦略的に判断

〔配当性向の推移イメージ〕

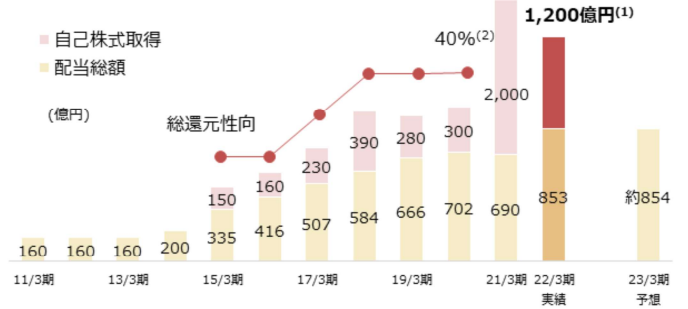
+

利益に応じた
安定配当
(22/3期より)

〔配当性向〕 毎期 **30%以上**

- ・ グループ修正利益過去3年平均をベース
- ・ 1株あたり配当の減配は原則行わない

株主還元の推移



グループ修正利益	2,101	2,432	2,363	2,745	2,828	2,961	2,700
過去3年平均							2,829

(円/株)

■ 1株あたり配当金⁽³⁾



(1) 2022年5月12日取締役会において決議した自己株式取得の上限金額 (2) DLJにおける金融派生商品の一時的な上振れ要因等を控除した実質的なグループ修正利益水準を基に算出 (3) 13/3期以前については株式分割後の換算値

第一生命グループ - 連結財務諸表(要約)

連結損益計算書

(億円)	22/3期 1Q	23/3期 1Q	増減
経常収益	19,455	28,677	+ 9,221
保険料等収入	12,537	15,959	+ 3,421
資産運用収益	6,065	9,779	+ 3,714
利息・配当金等収入	3,439	3,620	+ 181
有価証券売却益	1,308	1,713	+ 405
金融派生商品収益	26	69	+ 42
為替差益	-	4,272	+ 4,272
特別勘定資産運用益	627	-	△ 627
その他経常収益	851	2,937	+ 2,085
経常費用	17,393	27,206	+ 9,812
保険金等支払金	12,324	19,556	+ 7,232
責任準備金等繰入額	1,348	20	△ 1,327
資産運用費用	1,117	4,070	+ 2,953
有価証券売却損	504	1,414	+ 909
有価証券評価損	17	36	+ 19
金融派生商品費用	-	-	-
為替差損	329	-	△ 329
特別勘定資産運用損	-	630	+ 630
事業費	1,814	1,841	+ 27
経常利益	2,062	1,471	△ 591
特別利益	1	0	△ 1
特別損失	95	66	△ 28
契約者配当準備金繰入額	163	212	+ 49
税金等調整前四半期純利益	1,805	1,191	△ 613
法人税等合計	421	380	△ 40
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,384	811	△ 572

連結貸借対照表

(億円)	22/3末	22/6末	増減
資産の部合計	658,811	643,112	△ 15,699
現金・コール	26,637	24,923	△ 1,714
買入金銭債権	2,559	2,524	△ 34
有価証券	515,047	502,290	△ 12,756
貸付金	39,785	40,854	+ 1,068
有形固定資産	11,597	12,184	+ 586
繰延税金資産	93	1,695	+ 1,601
負債の部合計	614,726	608,488	△ 6,238
保険契約準備金	527,459	530,947	+ 3,487
責任準備金	514,076	517,487	+ 3,411
社債	8,703	8,825	+ 122
その他負債	59,067	53,487	△ 5,580
退職給付に係る負債	3,925	3,920	△ 4
価格変動準備金	2,873	2,931	+ 57
繰延税金負債	2,563	838	△ 1,725
純資産の部合計	44,085	34,623	△ 9,461
株主資本合計	19,963	19,926	△ 36
その他の包括利益累計額合計	24,115	14,692	△ 9,422
その他有価証券評価差額金	23,979	14,059	△ 9,919
土地再評価差額金	166	163	△ 2

以下の項目については、責任準備金の戻入/繰入や関連する資産の含み益/損等と相殺されるものを含む
(特別勘定資産運用益/損 為替差益/損 金融派生商品収益/費用)

第一生命 – 財務諸表(要約)

損益計算書

(億円)	22/3期 1Q	23/3期 1Q	増減
経常収益	9,511	11,095	+ 1,584
保険料等収入	5,415	5,941	+ 526
資産運用収益	3,726	3,999	+ 272
利息・配当金等収入	2,132	2,151	+ 18
有価証券売却益	1,147	1,633	+ 485
金融派生商品収益	-	82	+ 82
特別勘定資産運用益	403	-	△ 403
その他経常収益	368	1,154	+ 785
経常費用	8,049	9,373	+ 1,323
保険金等支払金	5,351	6,006	+ 655
責任準備金等繰入額	108	26	△ 82
資産運用費用	976	1,786	+ 810
有価証券売却損	501	1,055	+ 553
有価証券評価損	22	37	+ 14
金融派生商品費用	150	-	△ 150
為替差損	84	-	△ 84
特別勘定資産運用損	-	447	+ 447
事業費	1,003	943	△ 60
その他経常費用	609	610	+ 0
減価償却費	97	99	+ 2
経常利益 (△は損失)	1,461	1,721	+ 260
特別利益	1	0	△ 1
特別損失	81	51	△ 29
契約者配当準備金繰入額	163	212	+ 49
税引前四半期純利益 (△は損失)	1,218	1,457	+ 239
法人税等合計	343	453	+ 109
四半期純利益 (△は損失)	874	1,003	+ 129

貸借対照表

(億円)	22/3末	22/6末	増減
資産の部合計	386,815	373,630	△ 13,185
現金・預金	9,218	6,685	△ 2,533
買入金銭債権	2,398	2,369	△ 29
有価証券	327,408	316,510	△ 10,897
貸付金	25,691	25,717	+ 26
有形固定資産	11,281	11,856	+ 575
繰延税金資産	-	1,008	+ 1,008
負債の部合計	359,245	352,715	△ 6,529
保険契約準備金	301,317	300,379	△ 938
責任準備金	295,338	294,530	△ 807
危険準備金	5,998	6,005	+ 7
社債	3,687	3,687	-
その他負債	43,713	40,905	△ 2,807
退職給付引当金	3,983	3,997	+ 13
価格変動準備金	2,504	2,547	+ 42
繰延税金負債	1,154	-	△ 1,154
純資産の部合計	27,569	20,914	△ 6,655
株主資本合計	6,315	5,323	△ 991
評価・換算差額等合計	21,254	15,590	△ 5,663
その他有価証券評価差額金	21,304	15,849	△ 5,454
土地再評価差額金	166	163	△ 2

以下の項目については、責任準備金の戻入/繰入や関連する資産の含み益/損等と相殺されるものを含む
(特別勘定資産運用益/損 為替差益/損 金融派生商品収益/費用)

第一フロンティア生命 – 財務諸表(要約)

損益計算書

(億円)	22/3期 1Q	23/3期 1Q	増減
経常収益	5,160	11,770	+ 6,609
保険料等収入	3,604	5,999	+ 2,395
資産運用収益	781	4,740	+ 3,958
最低保証リスクに対するヘッジ利益 為替差益	-	7 4,213	+ 7 + 4,213
経常費用	4,700	12,017	+ 7,316
保険金等支払金	4,309	10,965	+ 6,656
責任準備金等繰入額	-	-	-
最低保証リスクに係る責任準備金繰入額	8	31	+ 23
危険準備金繰入額	9	35	+ 26
資産運用費用	249	841	+ 592
最低保証リスクに対するヘッジ損失 為替差損	5 245	- -	△ 5 △ 245
事業費	118	175	+ 57
経常利益 (△は損失)	460	△246	△ 706
特別利益	-	-	-
特別損失	13	15	+ 1
法人税等合計	66	△66	△ 133
四半期純利益 (△は損失)	379	△194	△ 574
【参考】			
四半期純利益 (△は損失)	379	△194	△ 574
基礎利益・最低保証リスクヘッジ損益 ⁽¹⁾	100	△20	△ 120
その他キャピタル・その他臨時損益	88	△75	△ 164
MVA(市場価格調整)関連損益 ⁽²⁾	280	△114	△ 395
危険/価格変動準備金繰入/戻入額・法人税等合計	△89	16	+ 105

貸借対照表

(億円)	22/3末	22/6末	増減
資産の部合計	99,370	94,879	△ 4,491
現預金・コール	10,521	9,065	△ 1,456
有価証券	73,114	73,189	+ 75
負債の部合計	96,710	93,452	△ 3,257
保険契約準備金	85,237	84,207	△ 1,030
責任準備金	84,991	83,979	△ 1,011
(MVA残高)	300	50	△ 249
危険準備金	1,141	1,177	+ 35
純資産の部合計	2,660	1,427	△ 1,233
株主資本合計	2,750	2,156	△ 594
資本金	1,175	1,175	-
資本剰余金	675	675	-
利益剰余金	900	306	△ 594
その他有価証券評価差額金	△90	△728	△ 638

- (1) 最低保証リスクに関連した損益には、最低保証リスクに係る責任準備金繰入額及び同ヘッジ損益に加え、変動商品の危険保険料や最低保証に係る支払、再保険収支等を含む(22/3期1Q: △1億円、23/3期1Q: △6億円)
(2) MVA(市場価格調整)に係る責任準備金繰入/戻入のうち、資産運用損益勘定で相殺され、経常利益に影響を及ぼさない部分は除く

以下の項目については、責任準備金の戻入/繰入や関連する資産の含み益/損等と相殺されるものを含む
(特別勘定資産運用益/損 為替差益/損 金融派生商品収益/費用)

米プロテktiv - 財務諸表(要約)⁽¹⁾



損益計算書

(百万米ドル)	21/12期 1Q	22/12期 1Q	増減
経常収益	3,464	3,799	+ 335
保険料等収入	1,594	1,629	+ 34
資産運用収益	1,433	1,057	△ 376
その他経常収益	435	1,112	+ 676
経常費用	3,337	3,836	+ 499
保険金等支払金	1,544	1,693	+ 148
責任準備金等繰入額	1,371	-	△ 1,371
資産運用費用	25	1,204	+ 1,178
事業費	295	275	△ 20
その他経常費用	100	664	+ 563
経常利益 (△は損失)	126	△37	△ 163
特別利益	-	-	-
特別損失	0	0	+ 0
法人税等合計	18	△7	△ 26
四半期純利益 (△は損失)	107	△29	△ 137

貸借対照表

(百万米ドル)	21/12末	22/3末	増減
資産の部合計	131,895	124,321	△ 7,574
現金	726	625	△ 101
有価証券	90,603	83,459	△ 7,143
貸付金	12,499	12,593	+ 93
有形固定資産	227	225	△ 1
無形固定資産	3,121	3,366	+ 245
のれん	752	759	+ 7
その他の無形固定資産	2,338	2,576	+ 237
再保険貸	15,380	14,782	△ 598
負債の部合計	121,569	117,491	△ 4,077
保険契約準備金	110,561	108,918	△ 1,642
再保険借	508	524	+ 16
社債	1,666	1,665	△ 0
その他負債	7,220	5,628	△ 1,592
純資産の部合計	10,326	6,829	△ 3,496
株主資本合計	7,944	7,676	△ 268
その他の包括利益累計額合計	2,381	△846	△ 3,228

(1) 米国の会計基準で作成した財務諸表を、当社の開示基準に準じて組み替えた上で開示

豪TAL – 財務諸表(要約)⁽¹⁾



損益計算書

(百万豪ドル)	22/3期 1Q	23/3期 1Q	増減
経常収益	1,678	1,851	+ 172
保険料等収入	1,559	1,639	+ 79
資産運用収益	96	0	△ 95
その他経常収益	23	211	+ 188
経常費用	1,723	1,810	+ 86
保険金等支払金	1,230	1,221	△ 9
責任準備金等繰入額	202	77	△ 124
資産運用費用	10	220	+ 209
事業費	234	238	+ 3
その他経常費用	45	53	+ 7
経常利益 (△は損失)	△44	41	+ 85
特別損益	-	-	-
法人税等合計	△14	0	+ 14
四半期純利益 (△は損失)	△30	40	+ 71
基礎的収益力	43	74	+ 30

貸借対照表

(百万豪ドル)	22/3末	22/6末	増減
資産の部合計	14,041	13,664	△ 377
現金	904	857	△ 47
有価証券	7,077	6,831	△ 246
有形固定資産	30	27	△ 3
無形固定資産	1,039	1,032	△ 6
のれん	786	786	-
その他無形固定資産	252	245	△ 6
再保険貸	183	195	+ 12
その他資産	4,706	4,620	△ 85
繰延税金資産	99	99	△ 0
負債の部合計	10,708	10,500	△ 208
保険契約準備金	8,320	8,144	△ 175
再保険借	1,029	1,081	+ 52
社債	-	-	-
その他負債	1,358	1,273	△ 84
繰延税金負債	-	-	-
純資産の部合計	3,333	3,163	△ 169
株主資本合計	3,333	3,163	△ 169
資本金	2,130	2,130	-
利益剰余金	1,202	1,033	△ 169

(1) オーストラリアの会計基準で作成した財務諸表を、当社の開示基準に準じて組み替えた上で開示

第一生命ベトナム - 財務諸表(要約)⁽¹⁾

損益計算書

(十億越ドン)	21/12期 1Q	22/12期 1Q	増減
経常収益	4,772	5,327	+ 555
保険料等収入	4,273	4,773	+ 499
資産運用収益	497	541	+ 44
その他経常収益	0	12	+ 12
経常費用	3,763	4,307	+ 543
保険金等支払金	730	848	+ 118
責任準備金等繰入額	925	1,500	+ 575
資産運用費用	-	-	-
事業費	2,091	1,932	△ 159
その他経常費用	16	25	+ 8
経常利益 (△は損失)	1,008	1,020	+ 12
特別利益	0	0	+ 0
特別損失	0	0	△ 0
法人税等合計	202	205	+ 3
四半期純利益 (△は損失)	807	816	+ 9

貸借対照表

(十億越ドン)	21/12末	22/3末	増減
資産の部合計	46,392	48,332	+ 1,940
現金	9,106	10,115	+ 1,009
有価証券	29,860	30,486	+ 625
貸付金	977	1,017	+ 39
有形固定資産	114	102	△ 12
無形固定資産	42	50	+ 7
再保険貸	-	-	-
負債の部合計	32,844	33,968	+ 1,124
保険契約準備金	30,170	31,659	+ 1,489
再保険借	232	265	+ 33
その他負債	2,437	2,039	△ 398
純資産の部合計	13,547	14,363	+ 816
株主資本合計	13,547	14,363	+ 816

(1) ベトナムの会計基準で作成した財務諸表を、当社の開示基準に準じて組み替えた上で開示

主要子会社別損益計算書(要約)



Dai-ichi Life
Holdings

(億円)	第一生命			第一フロンティア生命			ネオファースト生命			米プロテクトタイプ			東TAL			第一生命ベトナム			連結		
	22/3期 1Q	23/3期 1Q	増減	22/3期 1Q	23/3期 1Q	増減	22/3期 1Q	23/3期 1Q	増減	21/12期 1Q	22/12期 1Q	増減	22/3期 1Q	23/3期 1Q	増減	21/12期 1Q	22/12期 1Q	増減	22/3期 1Q	23/3期 1Q	増減
経常収益	9,511	11,095	+ 1,584	5,160	11,770	+ 6,609	392	485	+ 92	3,834	4,650	+ 815	1,395	1,738	+ 343	229	287	+ 58	19,455	28,677	+ 9,221
保険料等収入	5,415	5,941	+ 526	3,604	5,999	+ 2,395	391	484	+ 92	1,765	1,994	+ 228	1,296	1,539	+ 242	205	257	+ 52	12,537	15,959	+ 3,421
資産運用収益	3,726	3,999	+ 272	781	4,740	+ 3,958	0	1	+ 0	1,587	1,293	△ 293	79	0	△ 79	23	29	+ 5	6,065	9,779	+ 3,714
利息・配当金等収入	2,132	2,151	+ 18	402	447	+ 44	0	1	+ 0	858	981	+ 123	1	0	△ 1	22	29	+ 6	3,439	3,620	+ 181
有価証券売却益	1,147	1,633	+ 485	126	74	△ 51	0	-	△ 0	33	5	△ 28	-	-	-	-	-	-	1,308	1,713	+ 405
金融区分売却益	-	82	+ 82	0	-	△ 0	-	-	-	176	278	+ 102	-	-	-	-	-	-	26	69	+ 42
為替差益	-	61	+ 61	-	4,213	+ 4,213	-	-	-	-	-	-	0	-	△ 0	0	0	+ 0	-	4,272	+ 4,272
特別前払資産運用益	403	-	△ 403	224	-	△ 224	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	627	-	△ 627
その他結果収益	356	1,154	+ 795	774	1,030	+ 255	0	0	△ 0	482	1,361	+ 879	19	199	+ 179	0	0	+ 0	851	2,937	+ 2,085
経常費用	8,049	9,373	+ 1,323	4,700	12,017	+ 7,316	408	508	+ 100	3,694	4,695	+ 1,000	1,432	1,700	+ 267	180	232	+ 51	17,393	27,206	+ 9,812
保険金等支払金	5,351	6,006	+ 655	4,309	10,965	+ 6,656	195	391	+ 196	1,710	2,072	+ 362	1,022	1,147	+ 124	35	45	+ 10	12,324	19,556	+ 7,232
責任準備金等投入額	106	26	△ 82	-	-	-	131	27	△ 103	1,518	-	△ 1,518	167	72	△ 95	44	81	+ 36	1,348	20	△ 1,327
資産運用費用	976	1,786	+ 810	249	841	+ 592	0	0	△ 0	27	1,473	+ 1,445	8	206	+ 197	-	-	-	1,117	4,070	+ 2,953
有価証券売却損	501	1,085	+ 583	2	358	+ 356	-	-	-	0	0	△ 0	-	-	-	-	-	-	504	1,414	+ 909
有価証券評価損	22	37	+ 14	-	-	-	-	-	-	△ 5	△ 0	+ 4	-	-	-	-	-	-	17	36	+ 19
金融区分売却費用	150	-	△ 150	-	292	+ 292	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
為替差損	84	-	△ 84	245	-	△ 245	-	-	-	0	0	+ 0	-	0	+ 0	-	-	-	329	-	△ 329
特別前払資産運用損	-	447	+ 447	-	183	+ 183	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	630	+ 630
事業費	1,003	943	△ 60	118	175	+ 57	77	82	+ 5	327	336	+ 9	195	223	+ 28	100	104	+ 3	1,814	1,841	+ 27
経常利益 (△は損失)	1,461	1,721	+ 260	460	△ 246	△ 706	△ 15	△ 23	△ 7	140	△ 45	△ 185	△ 37	38	+ 75	48	55	+ 6	2,062	1,471	△ 591
特別損失	1	0	△ 1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	+ 0	1	0	△ 1
特別損失	81	51	△ 29	13	15	+ 1	0	0	△ 0	0	0	+ 0	-	-	-	0	0	△ 0	95	66	△ 28
契約者配当準備金繰入額	163	212	+ 49	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	163	212	+ 49
税金等調整前当期純利益	1,218	1,457	+ 239	446	△ 261	△ 707	△ 15	△ 23	△ 7	140	△ 45	△ 185	△ 37	38	+ 75	48	55	+ 6	1,805	1,191	△ 613
法人税等合計	343	453	+ 109	66	△ 66	△ 133	0	△ 5	△ 5	20	△ 9	△ 29	△ 11	0	+ 11	9	11	+ 1	421	380	△ 40
非支配株主に帰属する当期純利益	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
四半期純利益 (△は損失)	874	1,003	+ 129	379	△ 194	△ 574	△ 15	△ 17	△ 1	119	△ 36	△ 155	△ 25	38	+ 63	38	44	+ 5	1,384	811	△ 572

主要子会社別貸借対照表(要約)



	第一生命			第一フロンティア生命			ネオファースト生命			米プロテティブ			豪TAL			第一生命ベトナム			連結		
(億円)	22/3末	22/6末	増減	22/3末	22/6末	増減	22/3末	22/6末	増減	21/12末	22/3末	増減	22/3末	22/6末	増減	21/12末	22/3末	増減	22/3末	22/6末	増減
資産の部合計	386,815	373,630	△ 13,185	99,370	94,879	△ 4,491	4,151	4,147	△ 4	151,706	152,157	+ 450	12,918	12,830	△ 87	2,319	2,609	+ 290	658,811	643,112	△ 15,699
現金・コール	9,218	6,685	△ 2,533	10,521	9,065	△ 1,456	2,692	2,611	△ 80	835	765	△ 70	832	805	△ 27	455	546	+ 90	26,637	24,923	△ 1,714
買入金銭債権	2,398	2,369	△ 29	160	155	△ 4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2,559	2,524	△ 34
有価証券	327,408	316,510	△ 10,897	73,114	73,189	+ 75	823	897	+ 74	104,211	102,146	△ 2,065	6,511	6,414	△ 96	1,493	1,646	+ 153	515,047	502,290	△ 12,756
貸付金	25,691	25,717	+ 26	-	-	-	17	18	+ 0	14,377	15,413	+ 1,036	12	13	+ 0	48	54	+ 6	39,785	40,854	+ 1,068
有形固定資産	11,281	11,856	+ 575	13	13	△ 0	3	3	△ 0	261	276	+ 14	28	25	△ 2	5	5	△ 0	11,597	12,184	+ 586
無形固定資産	1,285	1,290	+ 4	154	156	+ 2	63	70	+ 7	3,590	4,120	+ 529	956	969	+ 13	2	2	+ 0	5,027	5,524	+ 496
繰延税金資産	-	1,008	+ 1,008	426	657	+ 230	13	13	+ 0	-	-	-	91	93	+ 1	3	2	△ 1	93	1,695	+ 1,601
負債の部合計	359,245	352,715	△ 6,529	96,710	93,452	△ 3,257	4,030	4,043	+ 12	139,829	143,798	+ 3,969	9,649	9,653	+ 3	1,642	1,834	+ 192	614,726	608,488	△ 6,238
保険契約準備金	301,317	300,379	△ 938	85,237	84,207	△ 1,030	3,961	3,989	+ 27	127,167	133,305	+ 6,138	7,655	7,647	△ 7	1,508	1,709	+ 201	527,459	530,947	+ 3,487
責任準備金	296,338	294,530	△ 807	84,991	83,979	△ 1,011	3,928	3,937	+ 8	125,902	131,998	+ 6,095	1,840	1,672	△ 168	1,462	1,660	+ 198	514,076	517,487	+ 3,411
仕債	3,687	3,687	-	-	-	-	-	-	-	1,916	2,038	+ 122	-	-	-	-	-	-	8,703	8,825	+ 122
その他負債	43,713	40,905	△ 2,807	4,734	3,459	△ 1,275	64	51	△ 13	8,305	6,888	△ 1,416	1,047	989	△ 57	121	110	△ 11	59,067	53,487	△ 5,580
退職給付に係る負債	3,983	3,997	+ 13	-	-	-	-	-	-	94	99	+ 4	-	-	-	0	0	+ 0	3,925	3,920	△ 4
価格変動準備金	2,504	2,547	+ 42	368	383	+ 15	0	0	+ 0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2,873	2,931	+ 57
繰延税金負債	1,154	-	△ 1,154	-	-	-	-	-	-	1,760	824	△ 936	-	-	-	-	-	-	2,563	838	△ 1,725
純資産の部合計	27,569	20,914	△ 6,655	2,660	1,427	△ 1,233	121	103	△ 17	11,877	8,359	△ 3,518	3,268	3,177	△ 91	677	775	+ 98	44,085	34,623	△ 9,461
株主資本合計	6,315	5,323	△ 991	2,750	2,156	△ 594	122	105	△ 17	9,265	8,944	△ 320	3,062	2,911	△ 150	679	723	+ 44	19,963	19,926	△ 36
その他の包括利益累計額合計	21,254	15,590	△ 5,663	△ 90	△ 728	△ 638	△ 1	△ 1	△ 0	2,612	△ 585	△ 3,197	206	265	+ 59	△ 1	52	+ 54	24,115	14,692	△ 9,422
その他有価証券評価差額金	21,304	15,849	△ 5,454	△ 90	△ 728	△ 638	△ 1	△ 1	△ 0	2,775	△ 999	△ 3,774	-	-	-	-	-	-	23,979	14,059	△ 9,919
土地再評価差額金	166	163	△ 2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	166	163	△ 2

第一生命グループ連結ソルベンシー・マージン比率

(億円)	22/3末	22/6末	増減	
ソルベンシー・マージン総額 (A)	83,444	72,263	△ 11,180	
資本金等 ⁽¹⁾	15,613	15,929	+ 315	
価格変動準備金	2,873	2,931	+ 57	
危険準備金	7,159	7,203	+ 43	
一般貸倒引当金	2	2	+ 0	
(その他有価証券評価差額金(税効果控除前)+繰延ヘッジ損益(税効果控除前))×90% (マイナスの場合100%)	29,463	17,496	△ 11,966	
土地の含み損益×85% (マイナスの場合100%)	3,617	3,581	△ 36	
未認識数理計算上の差異及び未認識過去勤務費用の合計額(税効果控除前)	119	141	+ 21	
全期チルメル式責任準備金相当額超過額	22,508	22,626	+ 118	
負債性資本調達手段等	10,037	10,037	-	
全期チルメル式責任準備金相当額超過額及び負債性資本調達手段等のうち、マージンに算入されない額	△5,825	△5,913	△ 87	
少額短期保険業者に係るマージン総額	0	0	-	
控除項目	△2,786	△2,731	+ 54	
その他	659	958	+ 298	
リスクの合計額 (B) $\sqrt{[(R_1^2 + R_2^2) + R_3 + R_4] \times 2 + (R_5 + R_6 + R_7) \times 2} + R_8 + R_9$	18,487	17,869	△ 618	
保険リスク相当額	R ₁	1,495	1,539	+ 44
一般保険リスク相当額	R ₅	41	71	+ 29
巨大災害リスク相当額	R ₆	15	16	+ 0
第三分野保険の保険リスク相当額	R ₈	1,854	1,850	△ 4
少額短期保険業者の保険リスク相当額	R ₉	0	0	-
予定利率リスク相当額	R ₂	2,099	2,081	△ 18
最低保証リスク相当額	R ₇ ⁽²⁾	761	751	△ 10
資産運用リスク相当額	R ₃	14,873	14,274	△ 599
経営管理リスク相当額	R ₄	422	411	△ 11
ソルベンシー・マージン比率 (A) / { (1/2) × (B) }	902.6%	808.8%	△93.8%pt	

(1) 社外流出予定額及びその他の包括利益累計額等を除く
(2) 標準的方法を用いて算出

本資料の問い合わせ先

第一生命ホールディングス株式会社
経営企画ユニット IRグループ
電話：050－3780－6930

免責事項

本プレゼンテーション資料の作成にあたり、第一生命ホールディングス株式会社（以下「当社」という。）は当社が入手可能なあらゆる情報の正確性や完全性に依拠し、それを前提としていますが、その正確性または完全性について、当社は何ら表明または保証するものではありません。本プレゼンテーション資料に記載された情報は、事前に通知することなく変更されることがあります。本プレゼンテーション資料およびその記載内容について、当社の書面による事前の同意なしに、第三者が公開または利用することはできません。

将来の業績に関して本プレゼンテーション資料に記載された記述は、将来予想に関する記述です。将来予想に関する記述には、これに限りませんが「信じる」、「予期する」、「計画」、「戦略」、「期待する」、「予想する」、「予測する」または「可能性」や将来の事業活動、業績、出来事や状況を説明するその他類似した表現を含みます。将来予想に関する記述は、現在入手可能な情報をもとにした当社の経営陣の判断に基づいています。そのため、これらの将来に関する記述は、様々なリスクや不確定要素に左右され、実際の業績は将来に関する記述に明示または黙示された予想とは大幅に異なる場合があります。したがって、将来予想に関する記述に依拠することのないようご注意ください。新たな情報、将来の出来事やその他の発見に照らして、将来予想に関する記述を変更または訂正する一切の義務を当社は負いません。